

医療安全管理者、および医療安全体制 に関するアンケート

調査期間：2023年7月28日～2023年8月31日

調査対象：認定病院患者安全推進協議会会員 1295病院

回答数：303件（回答率 23.4%）

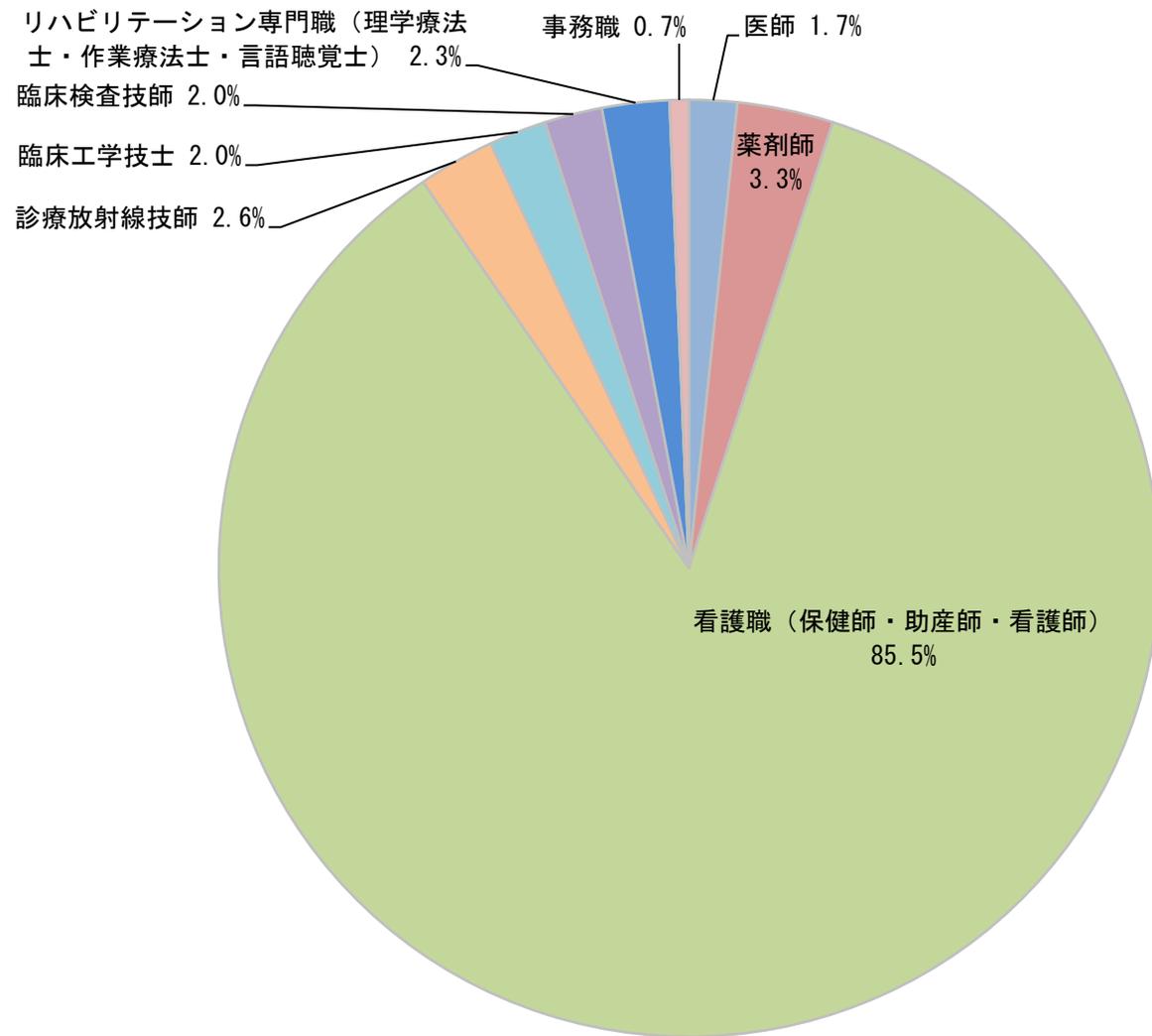
回答方法：Webアンケートフォームより回答

無断転載・二次利用を禁じます

公益財団法人 日本医療機能評価機構

認定病院患者安全推進協議会 教育プログラム部会

1. 回答される方の職種をお答えください。
(回答数: 303)



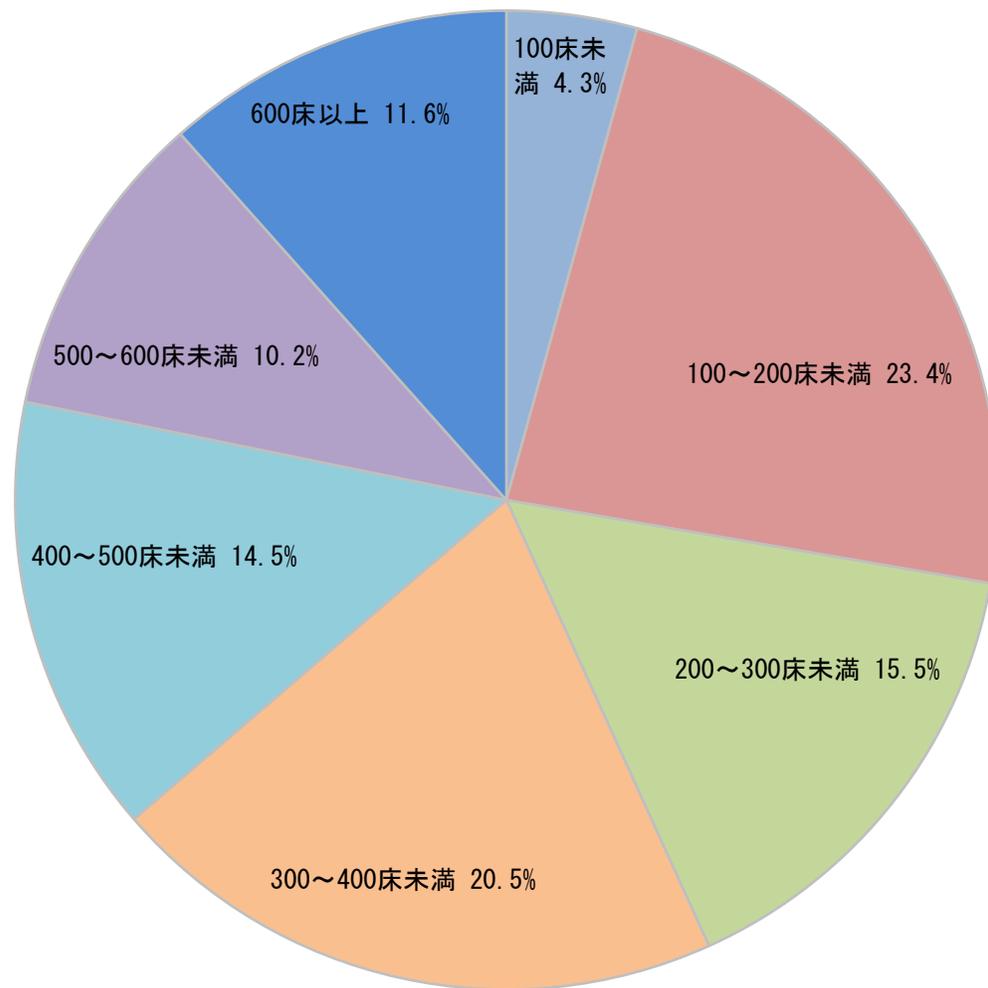
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 医師	5	1.7
2 薬剤師	10	3.3
3 看護職 (保健師・助産師・看護師)	259	85.5
4 診療放射線技師	8	2.6
5 臨床工学技士	6	2.0
6 臨床検査技師	6	2.0
7 リハビリテーション専門職 (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	7	2.3
8 その他医療専門職	0	0.0
9 事務職	2	0.7

2. 所属施設の都道府県名をお答えください。
(n=303)

単一回答	n	%
全体	(303)	
1 北海道	16	5.3
2 青森県	3	1.0
3 岩手県	3	1.0
4 宮城県	1	0.3
5 秋田県	1	0.3
6 山形県	4	1.3
7 福島県	5	1.7
8 茨城県	8	2.6
9 栃木県	5	1.7
10 群馬県	5	1.7
11 埼玉県	15	5.0
12 千葉県	11	3.6
13 東京都	19	6.3
14 神奈川県	13	4.3
15 新潟県	3	1.0
16 富山県	5	1.7
17 石川県	5	1.7
18 福井県	1	0.3
19 山梨県	0	0.0
20 長野県	3	1.0
21 岐阜県	6	2.0
22 静岡県	10	3.3
23 愛知県	22	7.3
24 三重県	1	0.3

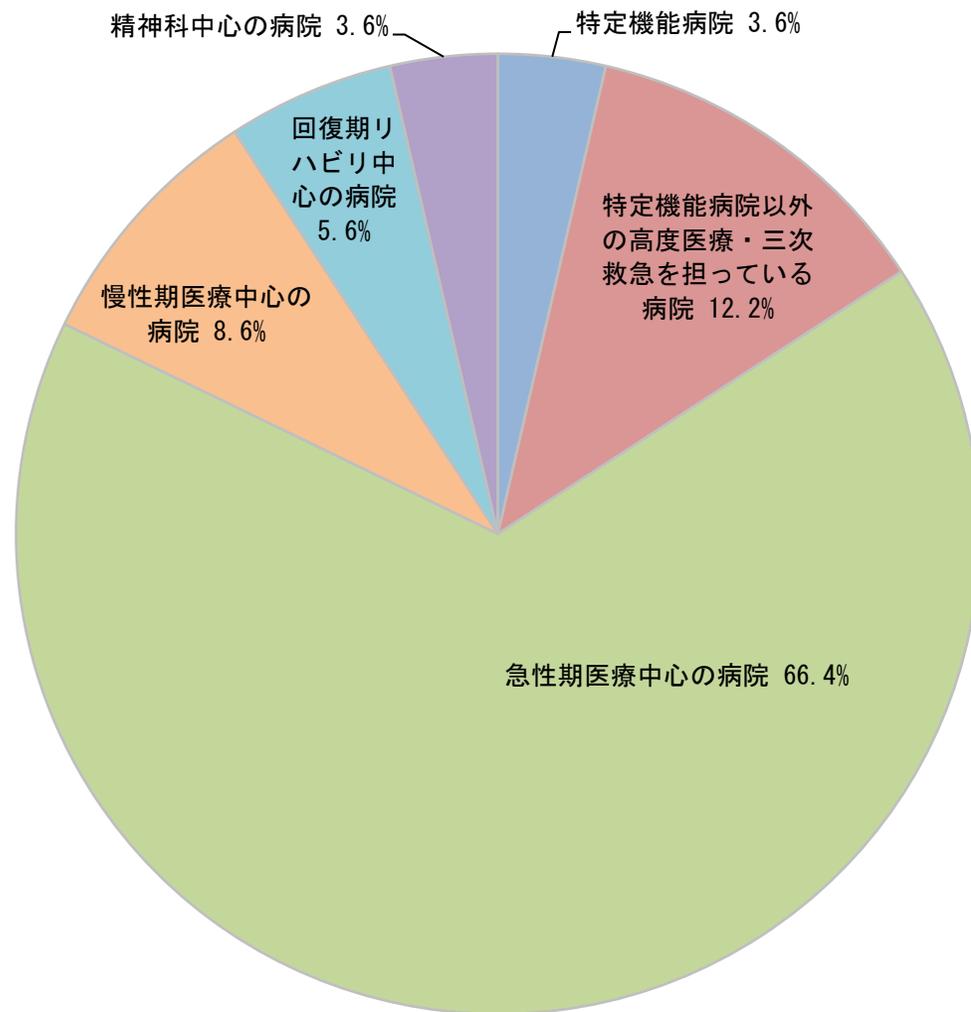
単一回答	n	%
25 滋賀県	4	1.3
26 京都府	9	3.0
27 大阪府	31	10.2
28 兵庫県	16	5.3
29 奈良県	4	1.3
30 和歌山県	0	0.0
31 鳥取県	2	0.7
32 島根県	1	0.3
33 岡山県	8	2.6
34 広島県	11	3.6
35 山口県	4	1.3
36 徳島県	3	1.0
37 香川県	0	0.0
38 愛媛県	3	1.0
39 高知県	6	2.0
40 福岡県	12	4.0
41 佐賀県	2	0.7
42 長崎県	5	1.7
43 熊本県	4	1.3
44 大分県	3	1.0
45 宮崎県	3	1.0
46 鹿児島県	5	1.7
47 沖縄県	2	0.7

3. 所属施設の病床数をお答えください。
(n=303)



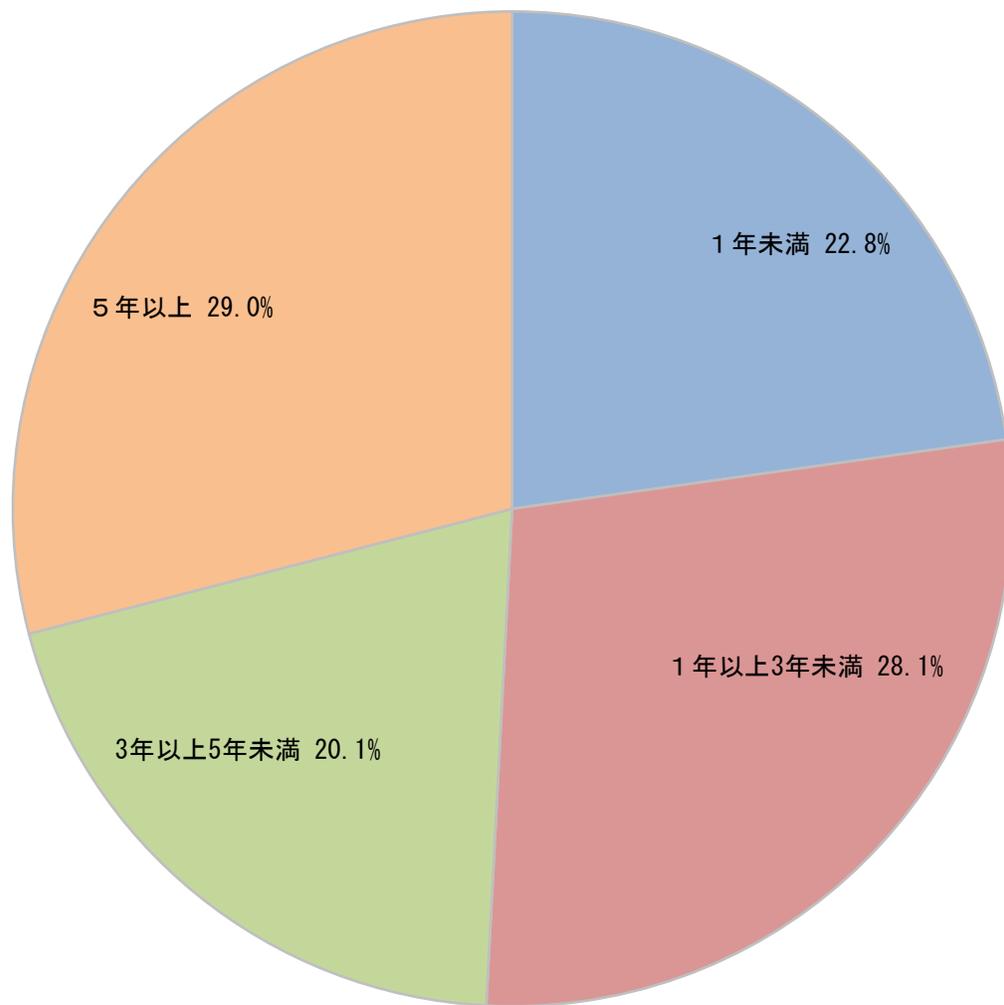
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 100床未満	13	4.3
2 100~200床未満	71	23.4
3 200~300床未満	47	15.5
4 300~400床未満	62	20.5
5 400~500床未満	44	14.5
6 500~600床未満	31	10.2
7 600床以上	35	11.6

4. 所属施設の機能（病院機能）についてお答えください。
(n = 303)



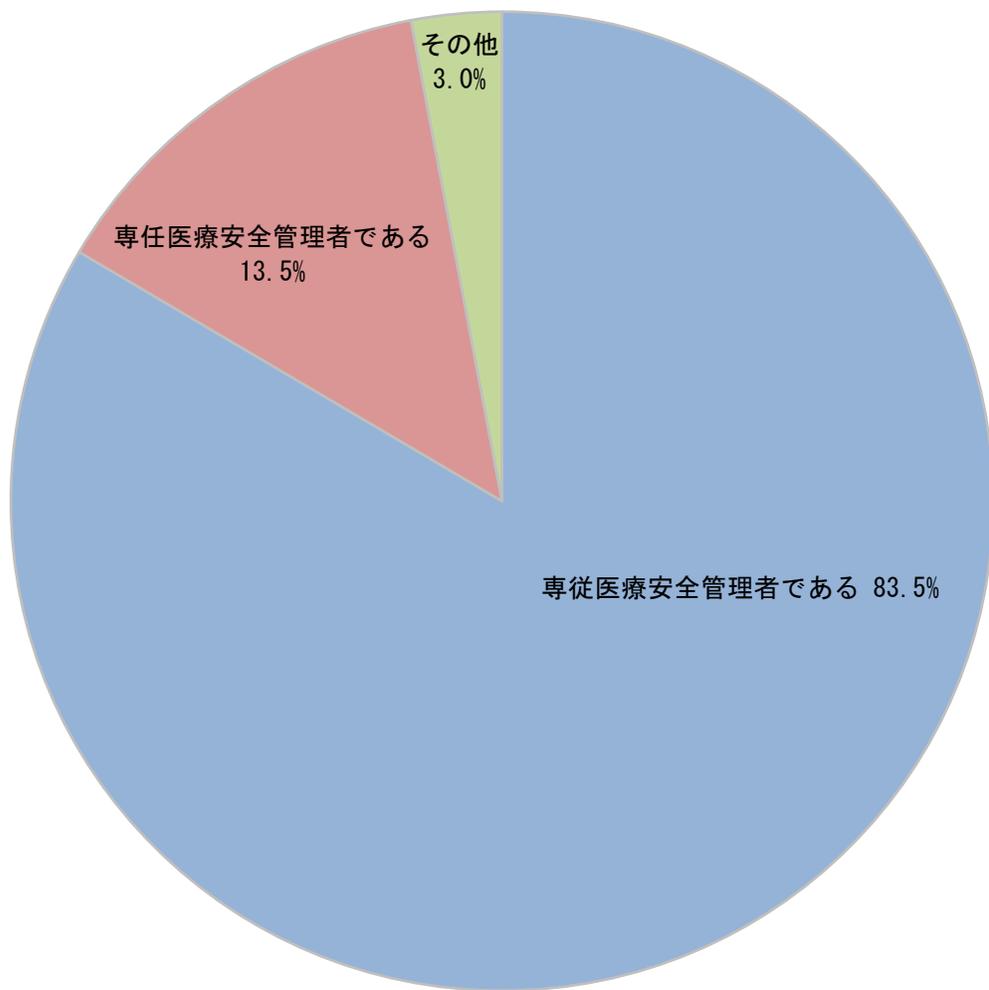
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 特定機能病院	11	3.6
2 特定機能病院以外の高度医療・三次救急を担っている病院	37	12.2
3 急性期医療中心の病院	201	66.4
4 慢性期医療中心の病院	26	8.6
5 回復期リハビリ中心の病院	17	5.6
6 精神科中心の病院	11	3.6
7 緩和ケア中心の病院	0	0.0

5. 医療安全管理者としての経験年数をお答えください。
(n=303)



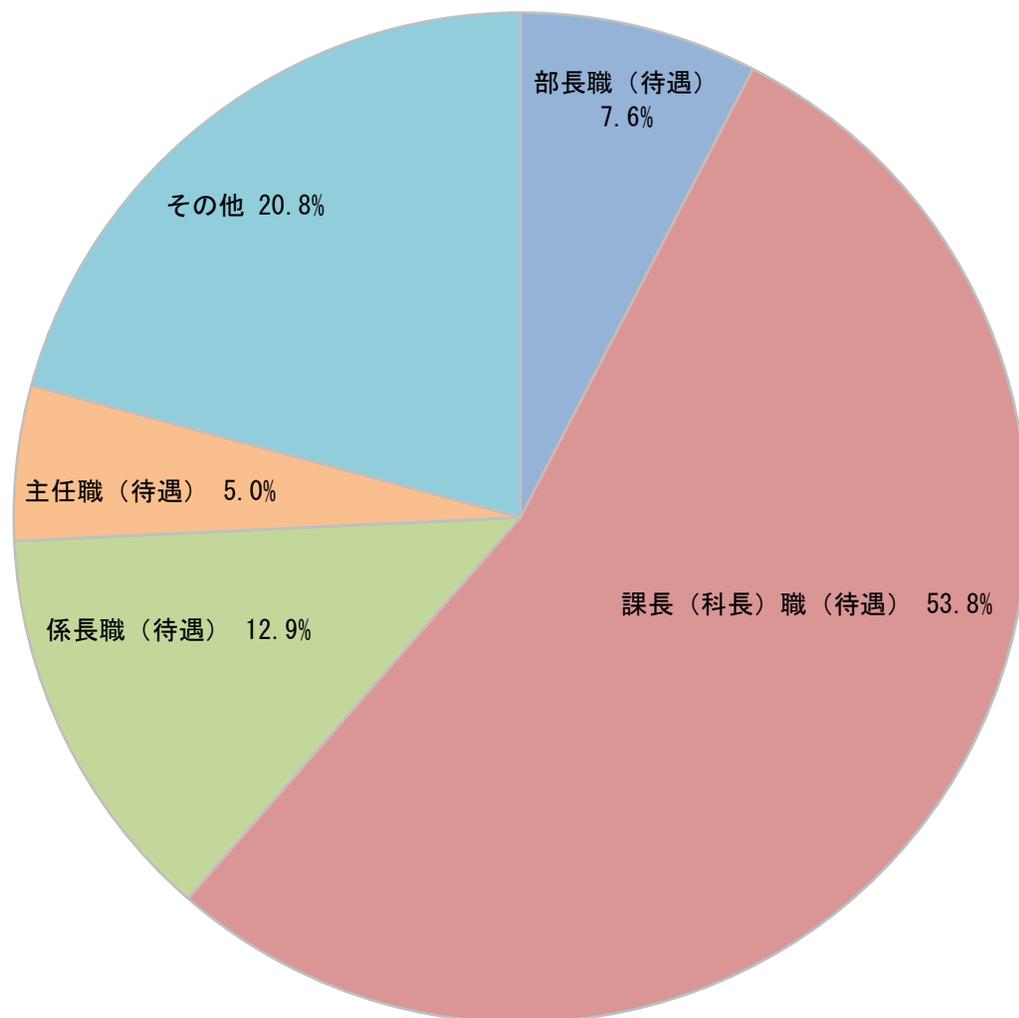
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 1年未満	69	22.8
2 1年以上3年未満	85	28.1
3 3年以上5年未満	61	20.1
4 5年以上	88	29.0

6. 専従・専任についてお答えください。
(n = 303)



単一回答	n	%
全体	(303)	
1 専従医療安全管理者である	253	83.5
2 専任医療安全管理者である	41	13.5
3 その他	9	3.0

7. 医療安全管理部門における役職をお答えください。
(n=303)



単一回答	n	%
全体	(303)	
1 部長職(待遇)	23	7.6
2 課長(科長)職(待遇)	163	53.8
3 係長職(待遇)	39	12.9
4 主任職(待遇)	15	5.0
5 その他	63	20.8

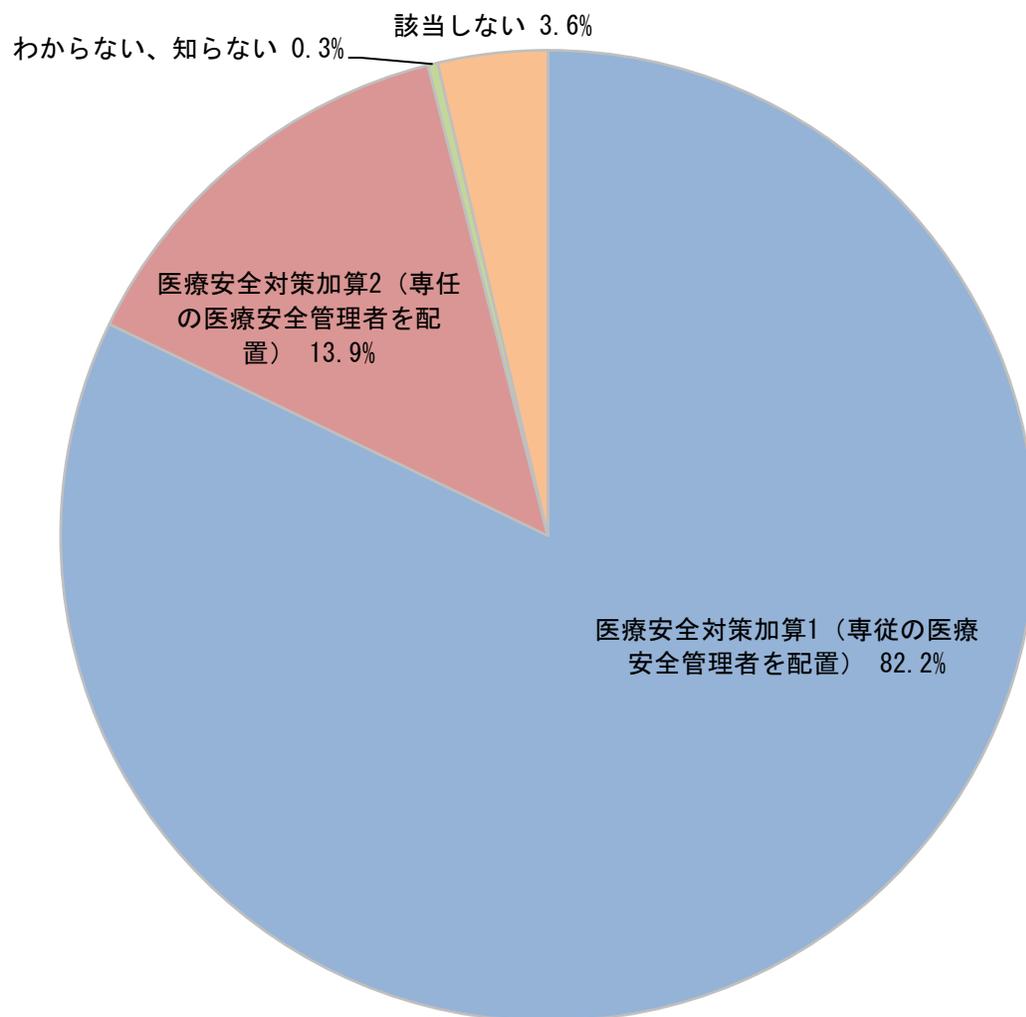
8. 医療安全管理部門の体制についてお伺いします。専従者の職種別人数をお答えください。
(n=303)

	全体	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値	無回答
1 医師	(303)	301	25	0.08	0.30	0.00	2.00	0.00	0
2 看護師（保健師、助産師含む）	(303)	301	289	0.96	0.73	0.00	4.00	1.00	0
3 薬剤師	(303)	301	31	0.10	0.32	0.00	2.00	0.00	0
4 臨床検査技師	(303)	301	8	0.03	0.16	0.00	1.00	0.00	0
5 診療放射線技師	(303)	301	7	0.02	0.15	0.00	1.00	0.00	0
6 その他医療専門職	(303)	301	21	0.07	0.30	0.00	3.00	0.00	0
7 事務職	(303)	301	90	0.30	0.76	0.00	6.00	0.00	0

9. 医療安全管理部門の体制についてお伺いします。専任者の職種別人数をお答えください。
(n=303)

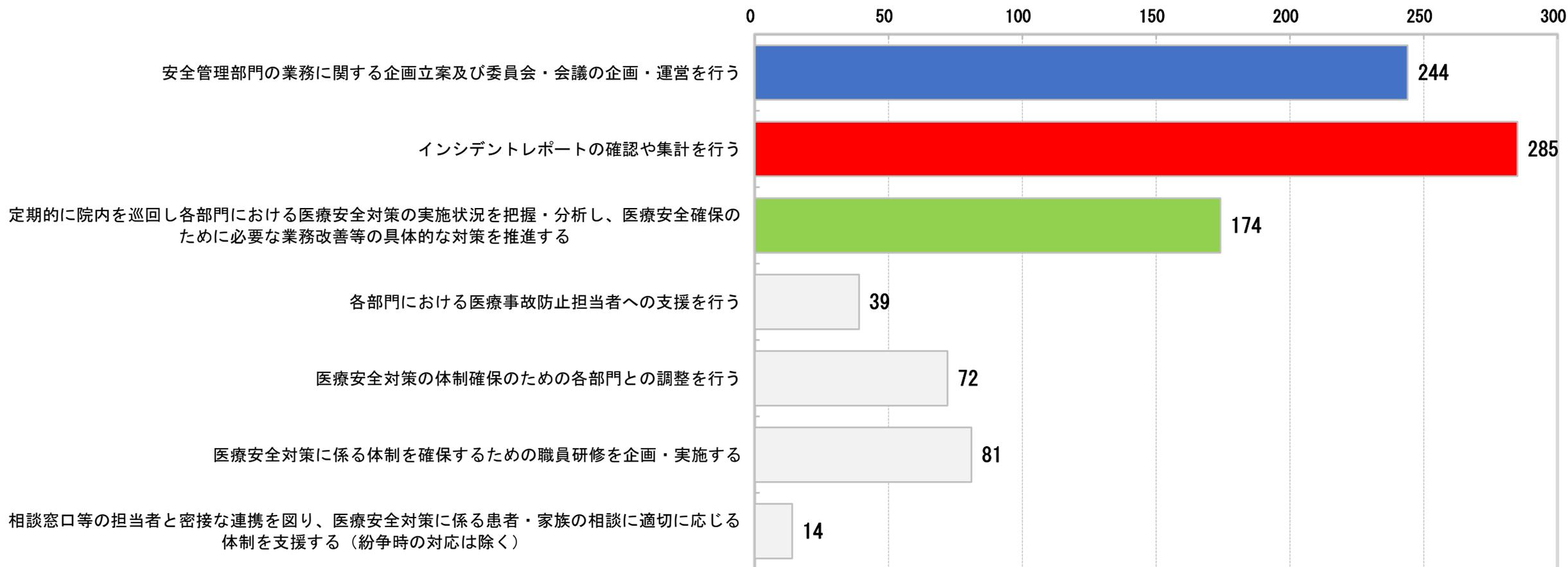
	全体	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値	無回答
1 医師	(303)	301	346	1.14	1.33	0.00	11.00	1.00	0
2 看護師（保健師、助産師含む）	(303)	301	250	0.83	1.84	0.00	26.00	0.00	0
3 薬剤師	(303)	301	186	0.61	0.55	0.00	3.00	1.00	0
4 臨床検査技師	(303)	301	63	0.21	0.42	0.00	2.00	0.00	0
5 診療放射線技師	(303)	301	97	0.32	0.49	0.00	3.00	0.00	0
6 その他医療専門職	(303)	301	186	0.61	1.03	0.00	7.00	0.00	0
7 事務職	(303)	301	192	0.63	0.83	0.00	3.00	0.00	0

10. 医療安全対策加算の算定状況をお答えください。
(n=303)

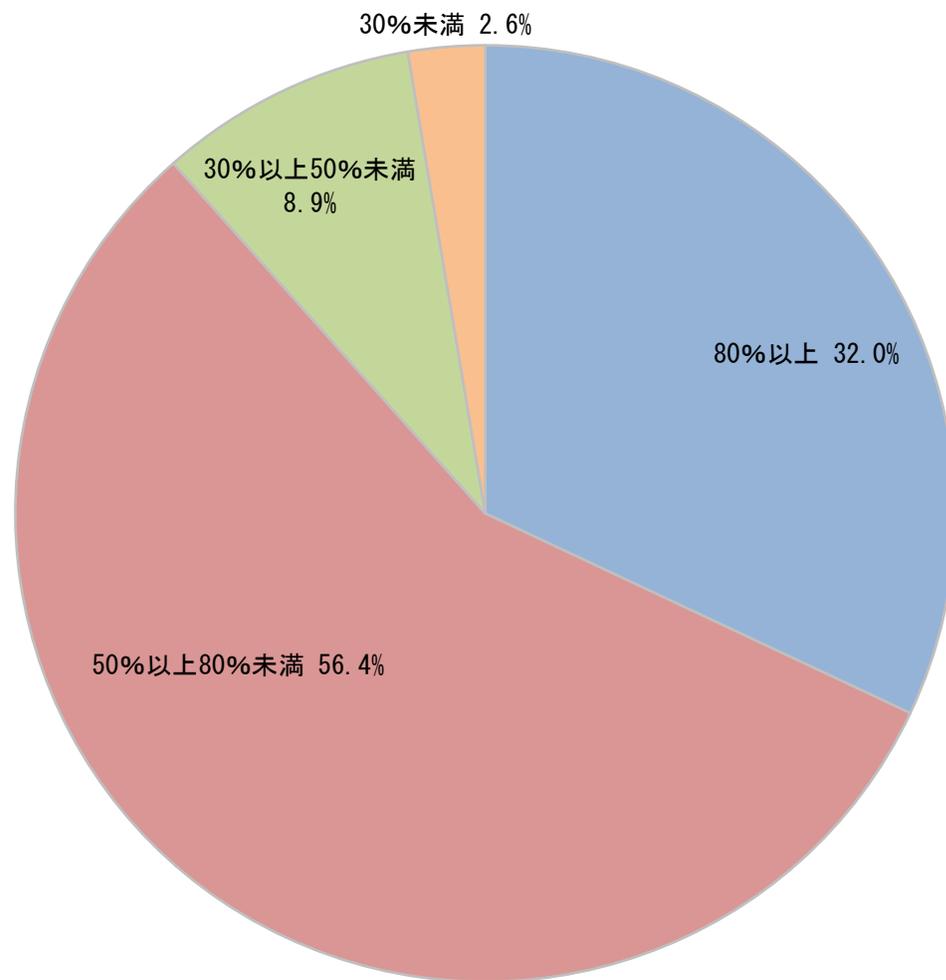


単一回答	n	%
全体	(303)	
1 医療安全対策加算1 (専従の医療安全管理者を配置)	249	82.2
2 医療安全対策加算2 (専任の医療安全管理者を配置)	42	13.9
3 わからない、知らない	1	0.3
4 該当しない	11	3.6

11. 日常業務の中で、医療安全管理者として、どの業務に、時間と労力を割いていますか。上位3つの業務を選択ください。医療安全管理者（回答者）の担当業務として回答ください。なお、時期によって繁忙・閑散があるとは思いますが、1年間の平均として回答ください。
 (回答数: 303)【複数回答】



12. Q11で選択した上位3つの業務がご自身の業務全体に占める割合についてお答えください。
 こちらについても1年間の平均で回答ください。
 (回答数: 303)

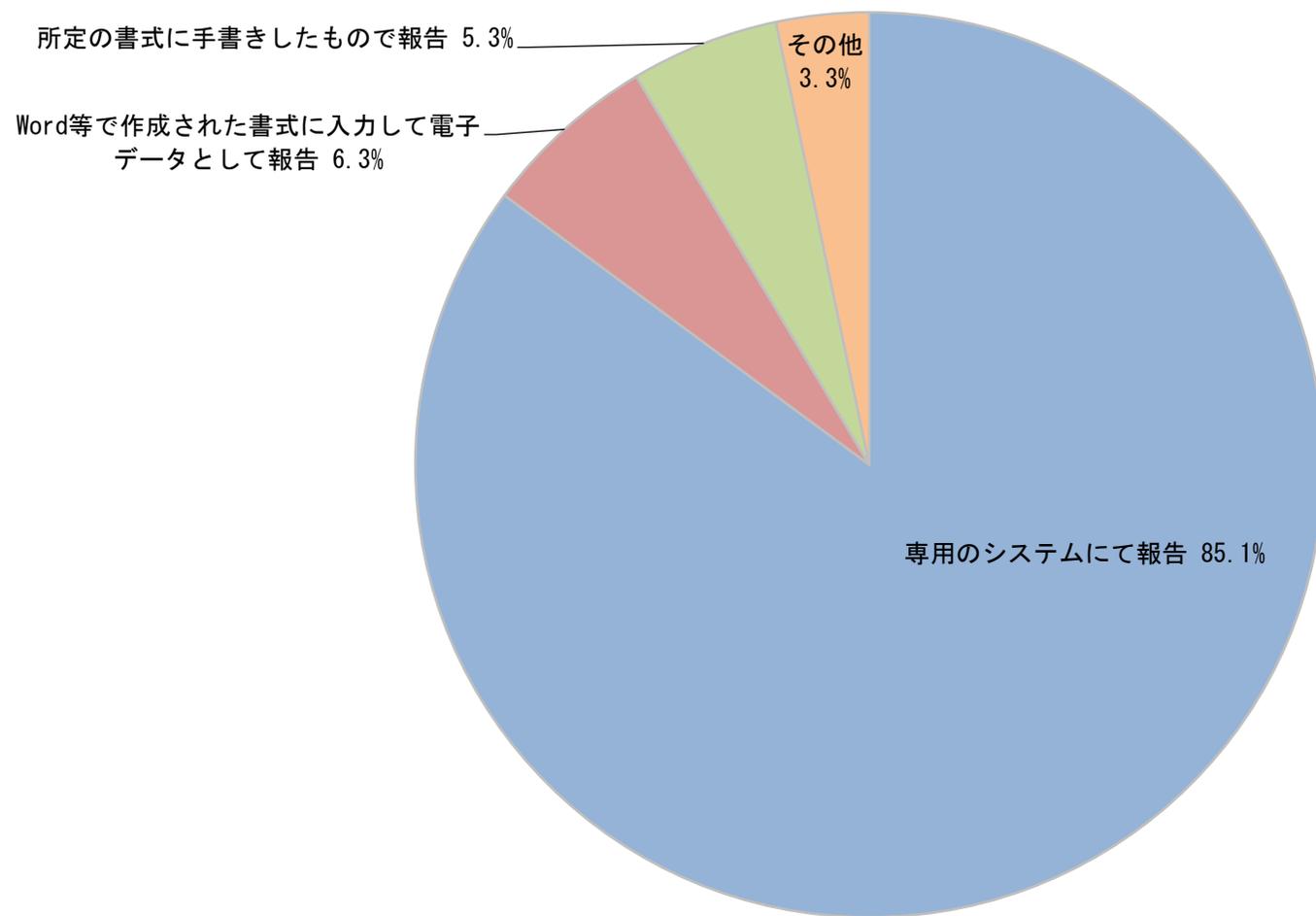


単一回答	n	%
全体	(303)	
1 80%以上	97	32.0
2 50%以上80%未満	171	56.4
3 30%以上50%未満	27	8.9
4 30%未満	8	2.6

13. 1カ月間に提出されるインシデントレポートの件数は平均何件ですか。
(回答数：303)

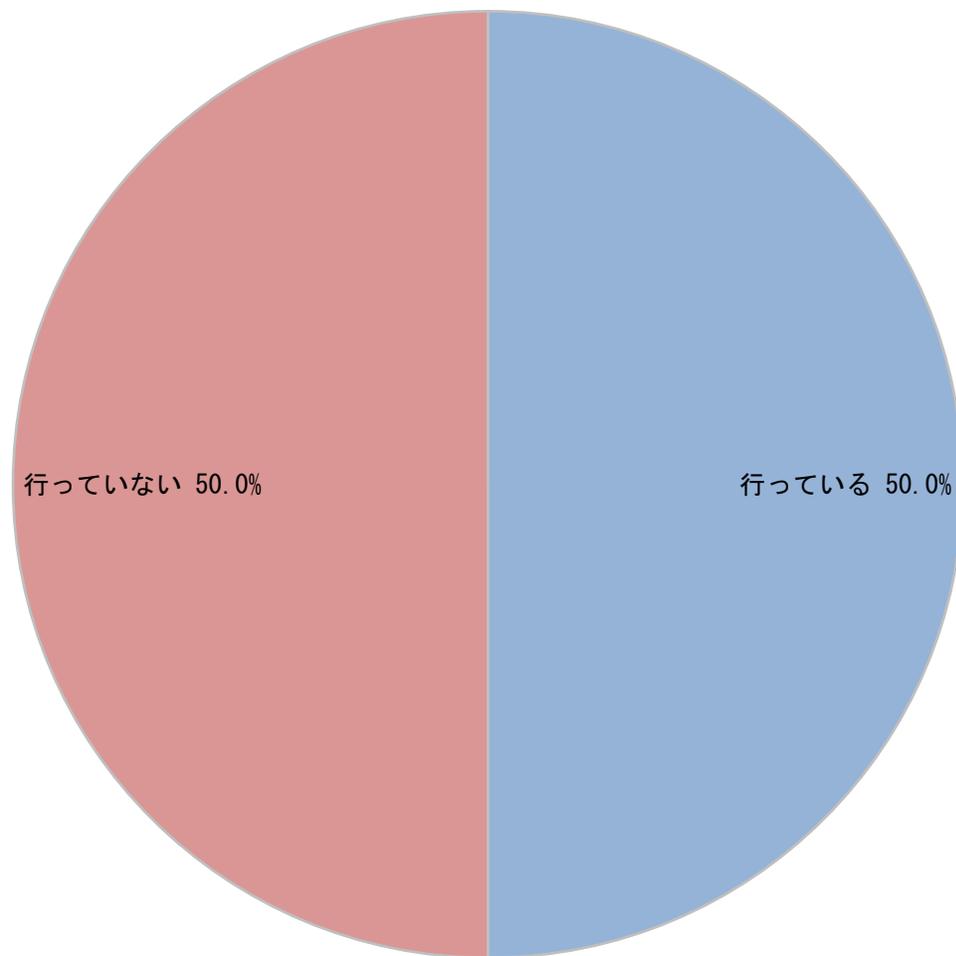
全体	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値	無回答
(303)	303	83991	277.20	499.62	6.00	5200.00	150.00	0

14-1. インシデントレポートはどのように報告されますか。
 複数の方法を併用している場合は、最も多く報告されている方法を選択ください。
 (回答数：303)



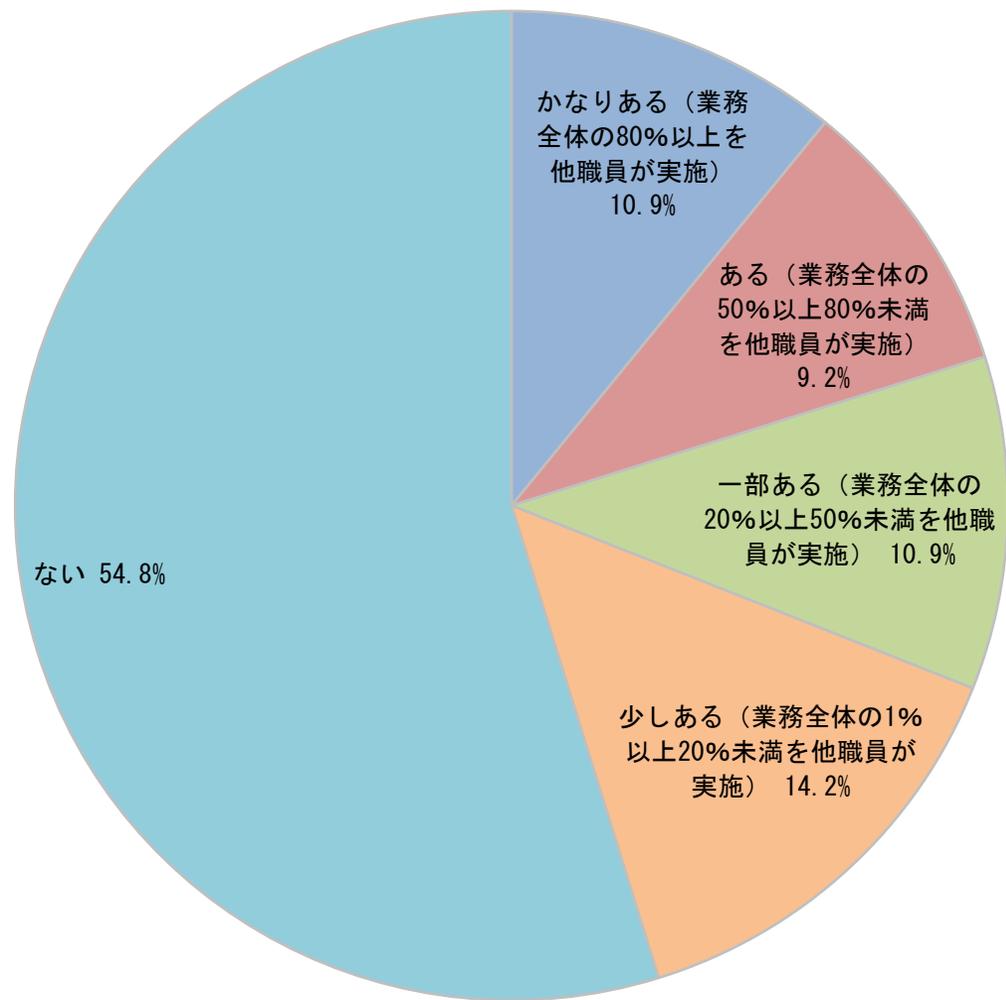
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 専用のシステムにて報告	258	85.1
2 Word等で作成された書式に入力して電子データとして報告	19	6.3
3 所定の書式に手書きしたもので報告	16	5.3
4 その他	10	3.3

14-2. Q14-1で「所定の書式に手書きしたもので報告」を選択された方にお聞きします。
Word等への再入力（打ち直し）は行っていますか。
(回答数：16)



単一回答	n	%
全体	(16)	
1 行っている	8	50.0
2 行っていない	8	50.0
3 その他	0	0.0

15. インシデントレポート集計業務において、事務職員など他職員の関与はありますか。
(回答数：303)

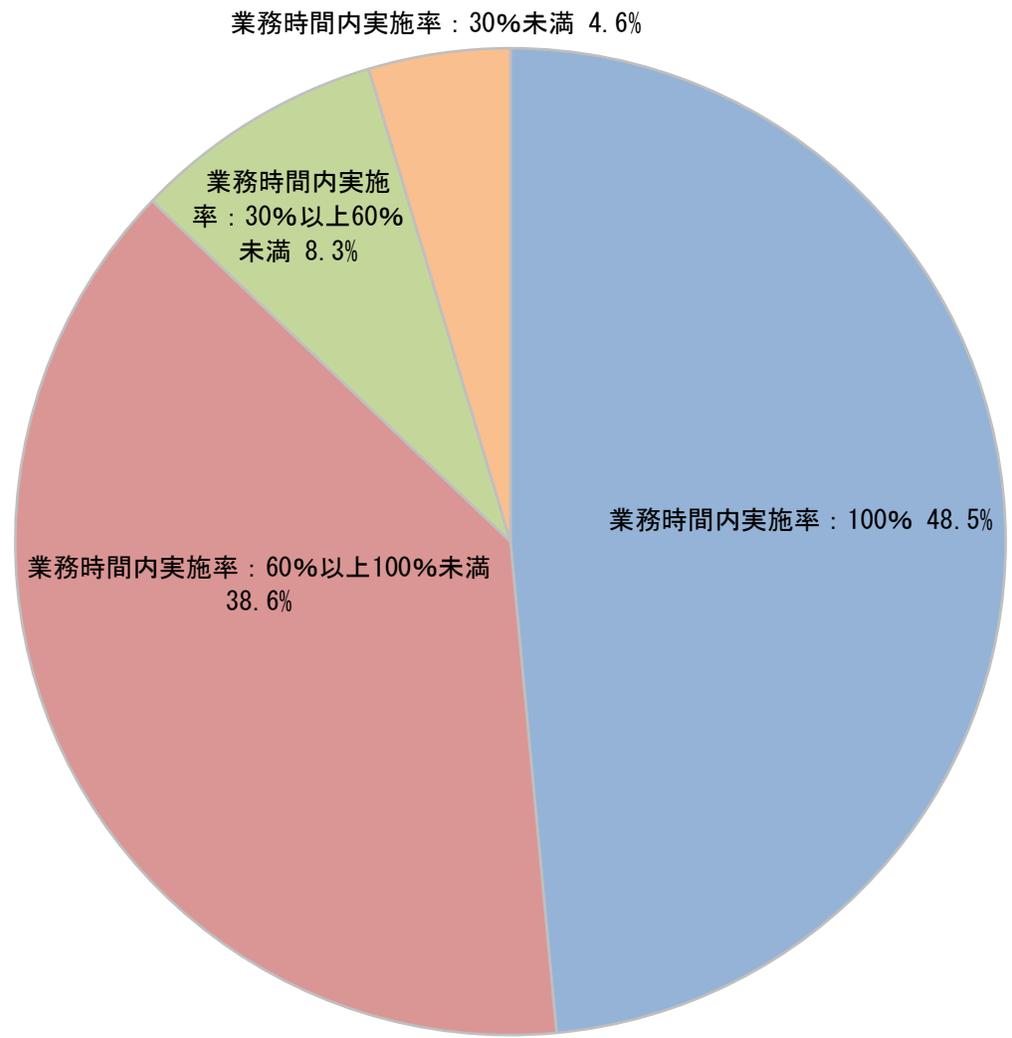


単一回答	n	%
全体	(303)	
1 かなりある (業務全体の80%以上を他職員が実施)	33	10.9
2 ある (業務全体の50%以上80%未満を他職員が実施)	28	9.2
3 一部ある (業務全体の20%以上50%未満を他職員が実施)	33	10.9
4 少しある (業務全体の1%以上20%未満を他職員が実施)	43	14.2
5 ない	166	54.8

16. 医療安全関連の委員会・会議に月何時間程度費やしていますか。
(回答数：303)

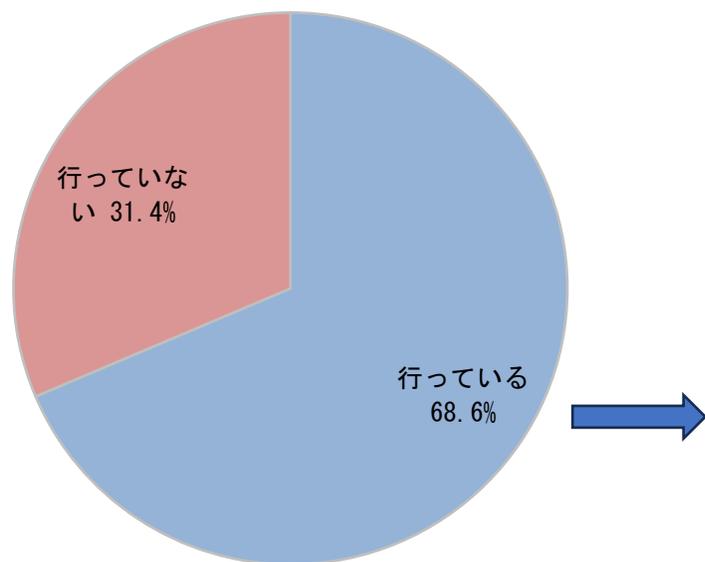
全体	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値	無回答
(303)	303	2347	7.75	7.76	0.25	80.00	6.00	0

17. Q16で回答いただいた時間の委員会・会議について業務時間内で実施できていますか。
(回答数：303)

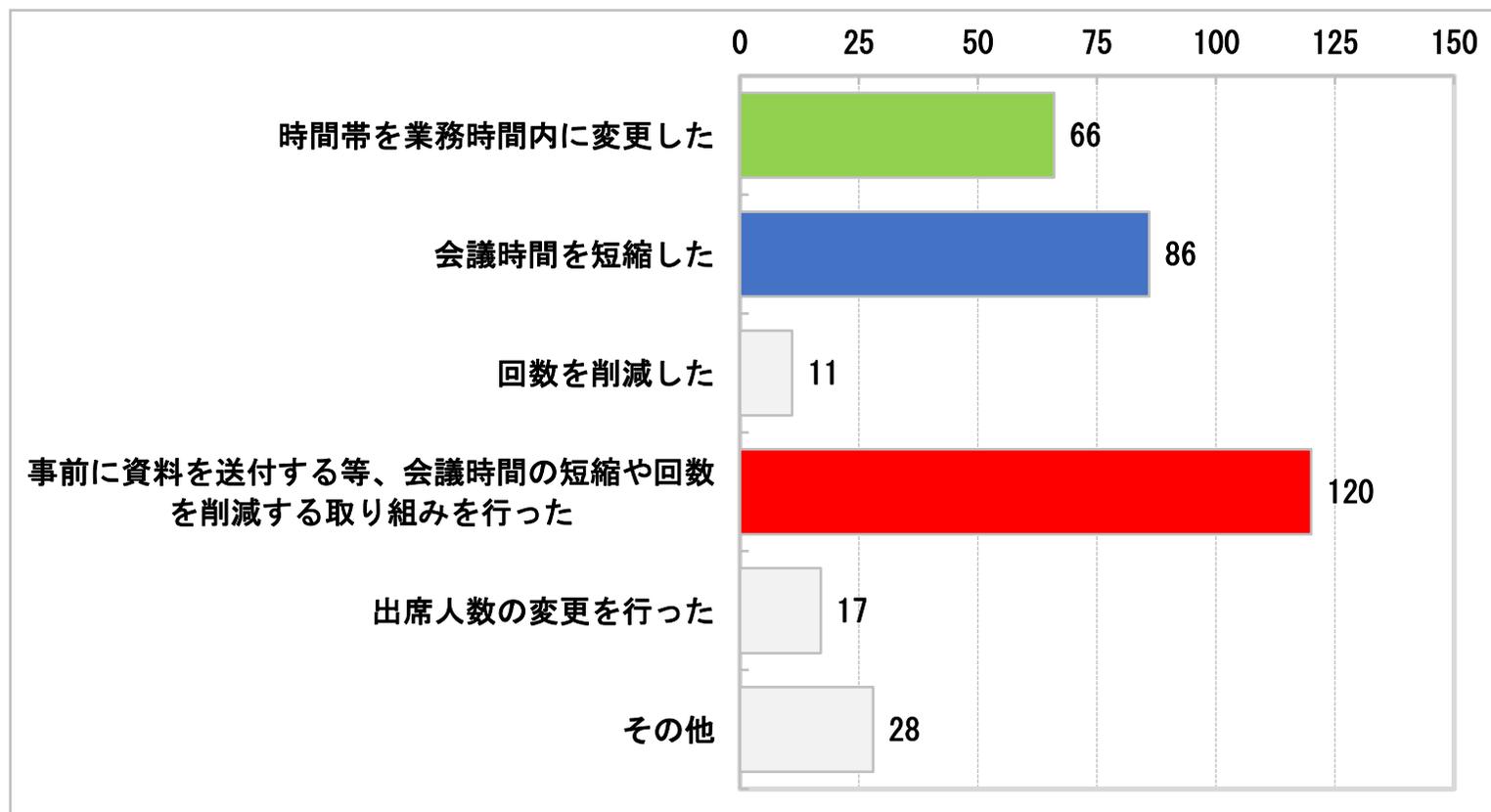


単一回答	n	%
全体	(303)	
1 業務時間内実施率：100%	147	48.5
2 業務時間内実施率：60%以上100%未満	117	38.6
3 業務時間内実施率：30%以上60%未満	25	8.3
4 業務時間内実施率：30%未満	14	4.6

18. 働き方改革に対応するために、医療安全関連の委員会・会議について何らかの取り組みを行いましたか。
(回答数：303)



【回答数208 複数回答】

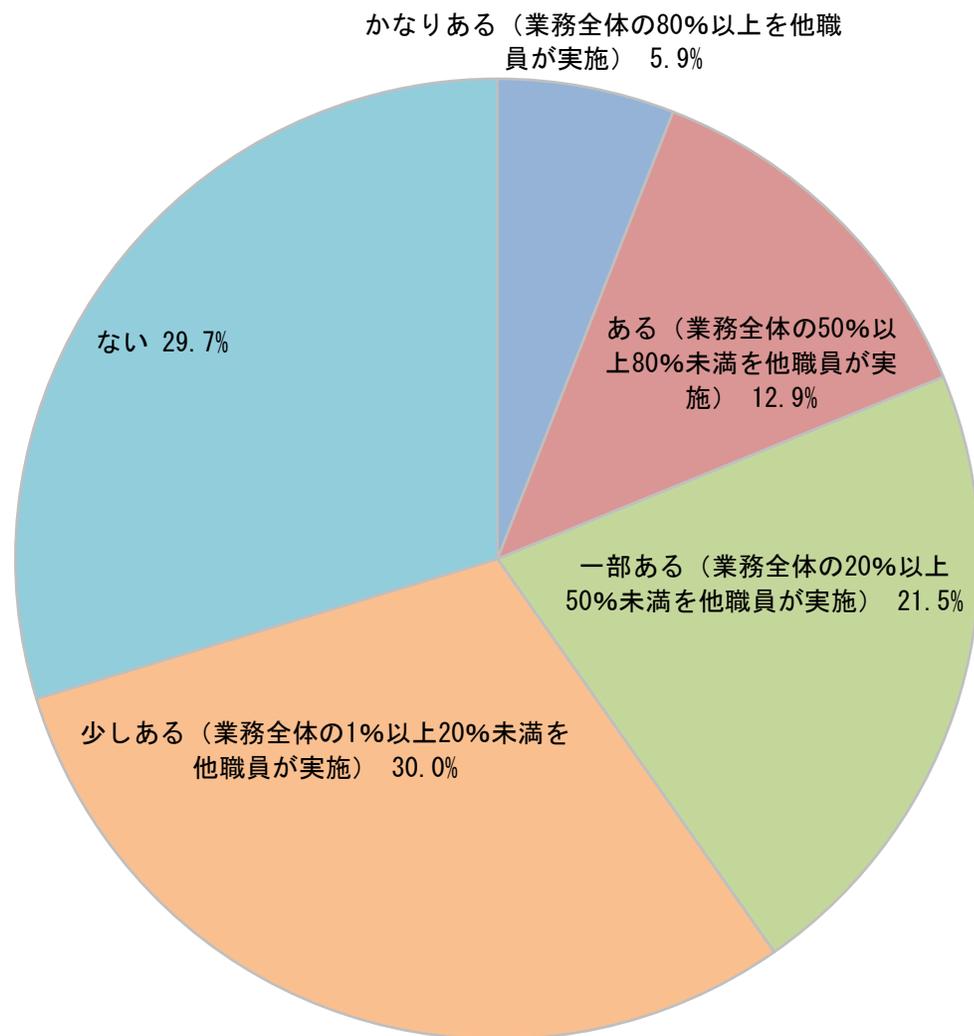


18. 働き方改革に対応するために、医療安全関連の委員会・会議について何らかの取り組みを行いましたか。
 「その他」回答の具体的な内容。（任意）
 (回答数：27)

No.	区分	18. 働き方改革に対応するために、医療安全関連の委員会・会議について何らかの取り組みを行いましたか。 「その他」回答の具体的な内容。（任意）
1	Web活用	1 資料はイントラネットで配信。印刷・配布業務は廃止。病院間の会議はWEBで行っている。（移動時間の廃止。）
5	Web活用	5 週一回行われるカンファレンスをメーリングシステムのチャット上で行うようにした 部署から移動することが不要となった
8	体制	2 委員会の体制・構成を見直した
11	準備	5 会議の前に打ち合わせ会議を行うことで、当日の議事進行がスムーズに進むようにしている。
14	準備	8 会議資料のペーパレス化を行い、事前準備の短縮化を図った。また会議資料をグラフ化するなどして見やすい資料による会議進行を行い会議時間の短縮化を図った。
16	運用	2 検討内容が少ないときは、文書会議とする。
19	運用	5 医療安全に関するラウンドを会議時間内に行えるよう調整している。
22	運用	8 会議の議事録作成支援を事務に依頼した
23	運用	9 30分以内で終了するようにしている

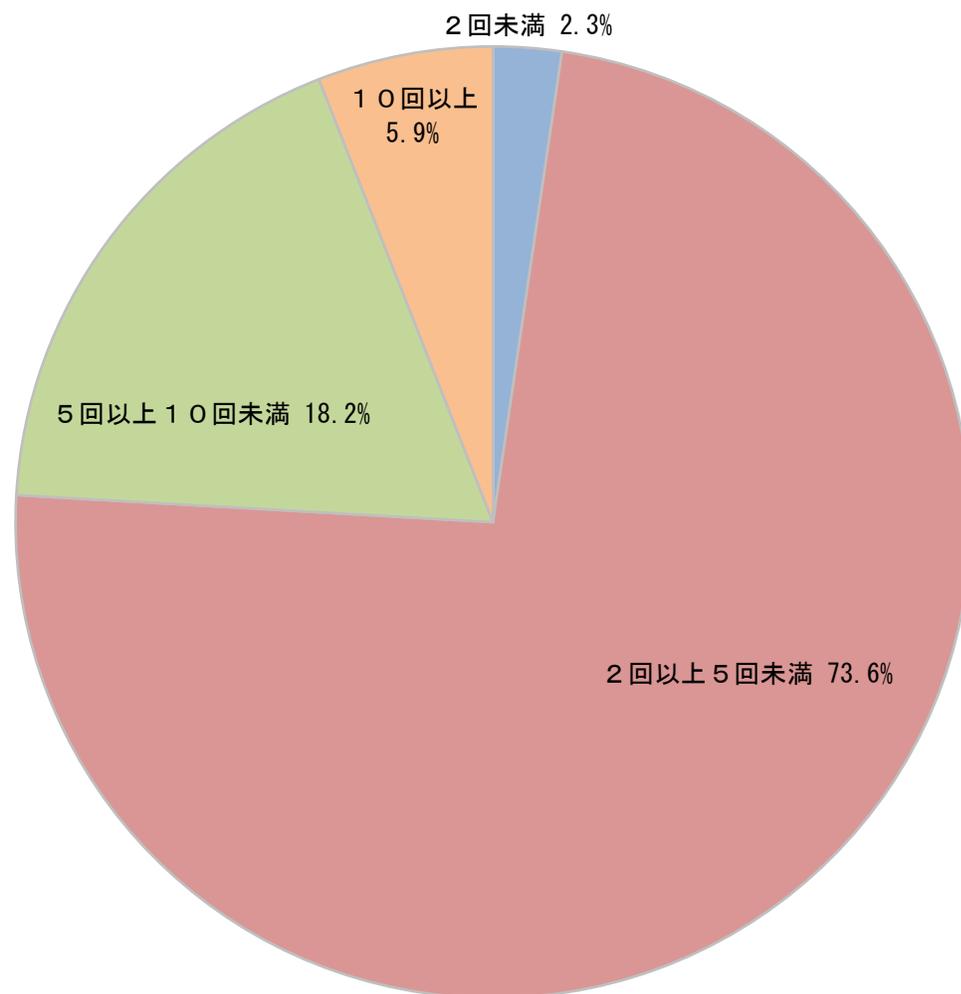
※一部抜粋

19. 医療安全関連の委員会・会議の準備・運営において、事務職員など他職員の関与はありますか。
(回答数：303)



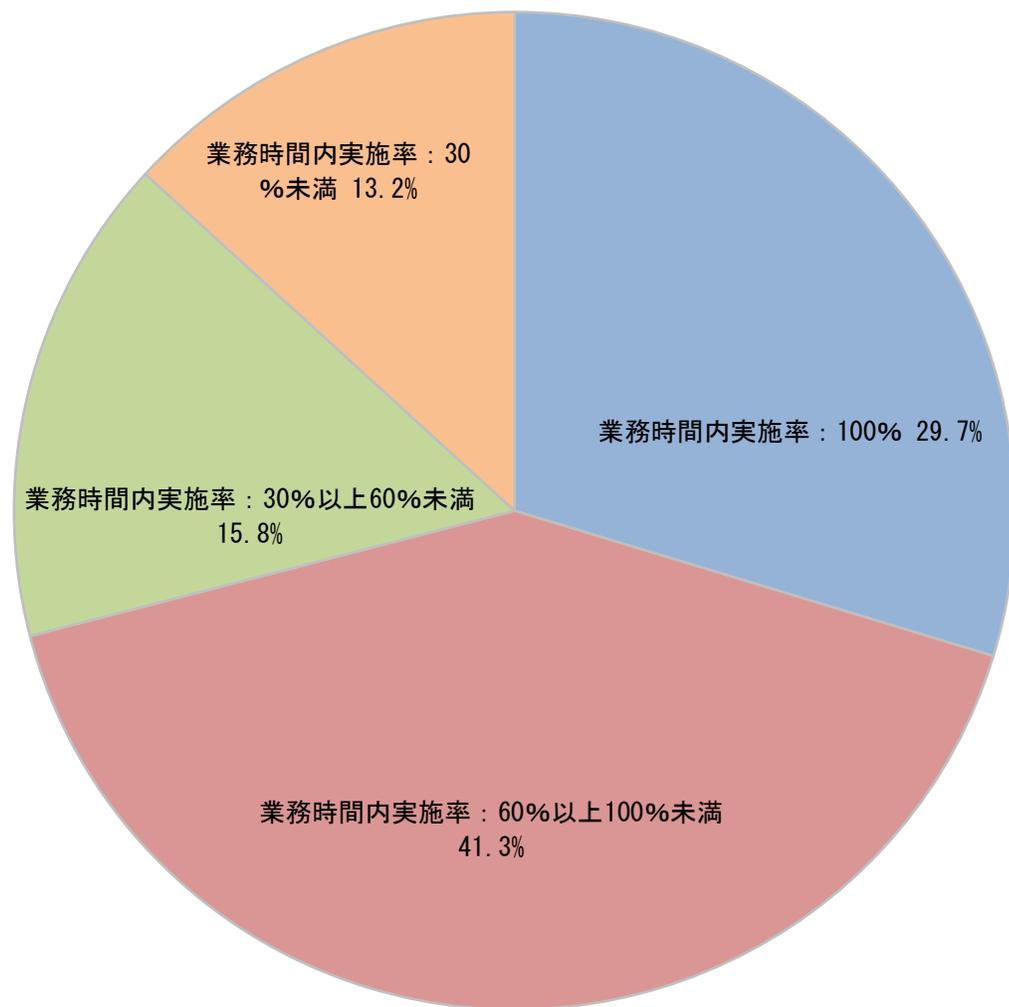
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 かなりある (業務全体の80%以上を他職員が実施)	18	5.9
2 ある (業務全体の50%以上80%未満を他職員が実施)	39	12.9
3 一部ある (業務全体の20%以上50%未満を他職員が実施)	65	21.5
4 少しある (業務全体の1%以上20%未満を他職員が実施)	91	30.0
5 ない	90	29.7

20. 医療安全管理部門が企画・運営を行う医療安全対策研修を年間何回（程度）開催していますか。
 (回答数：303)



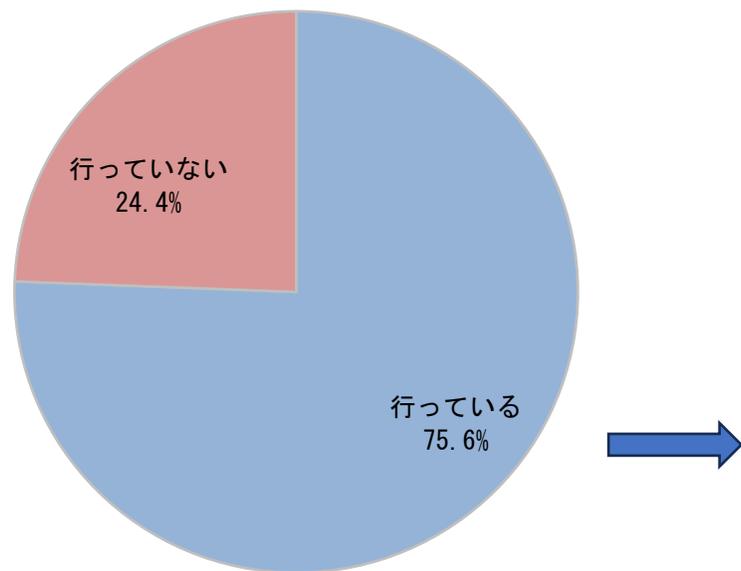
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 2回未満	7	2.3
2 2回以上5回未満	223	73.6
3 5回以上10回未満	55	18.2
4 10回以上	18	5.9

21. Q20で回答した研修について、業務時間内で実施できていますか。
(回答数：303)



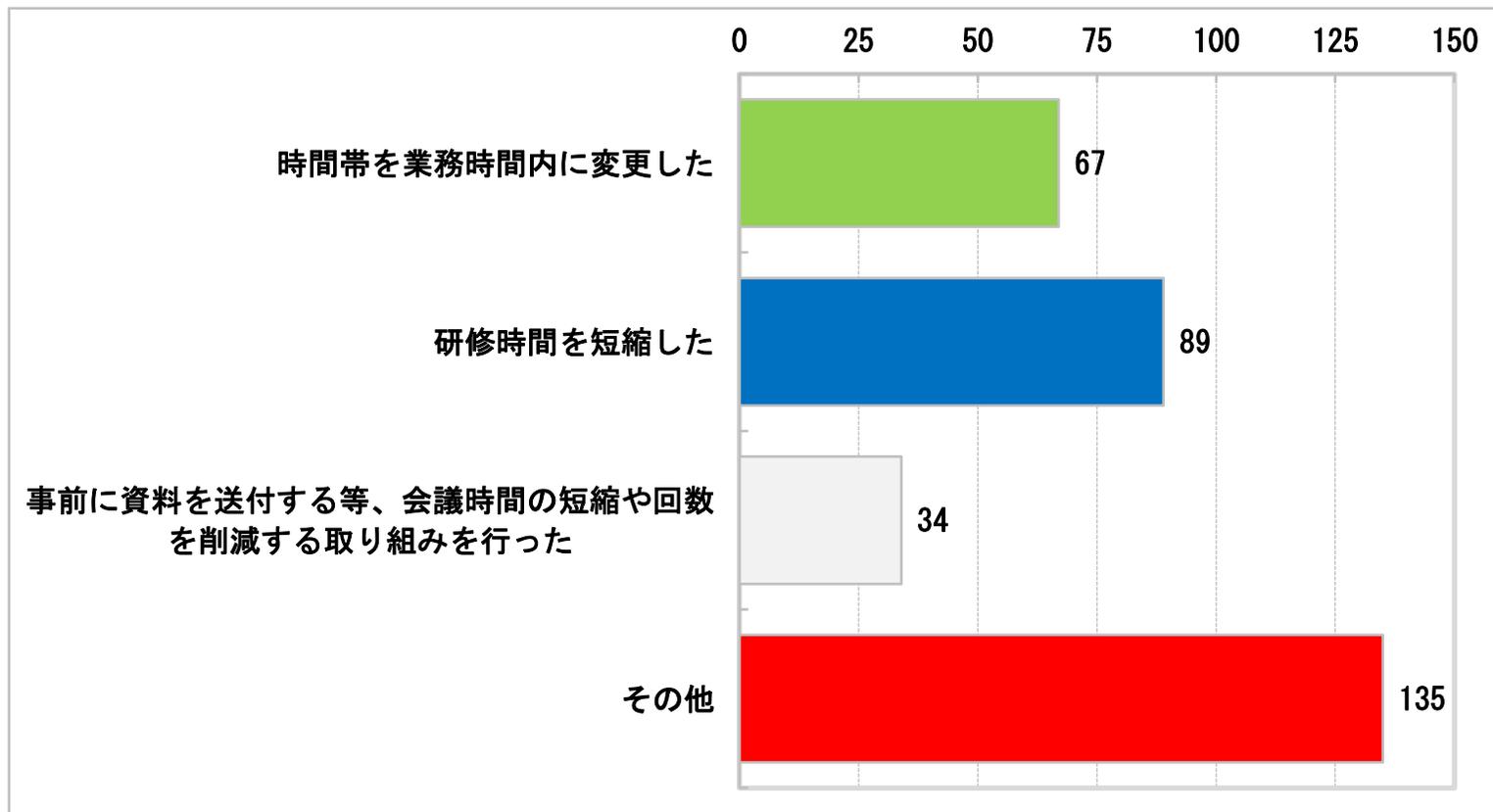
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 業務時間内実施率：100%	90	29.7
2 業務時間内実施率：60%以上100%未満	125	41.3
3 業務時間内実施率：30%以上60%未満	48	15.8
4 業務時間内実施率：30%未満	40	13.2

22. 働き方改革に対応するために、医療安全対策研修について何らかの取り組みを行いましたか。
(回答数：303)



単一回答		n	%
全体		(303)	
1	行っている	229	75.6
2	行っていない	74	24.4

【回答数229 複数回答】

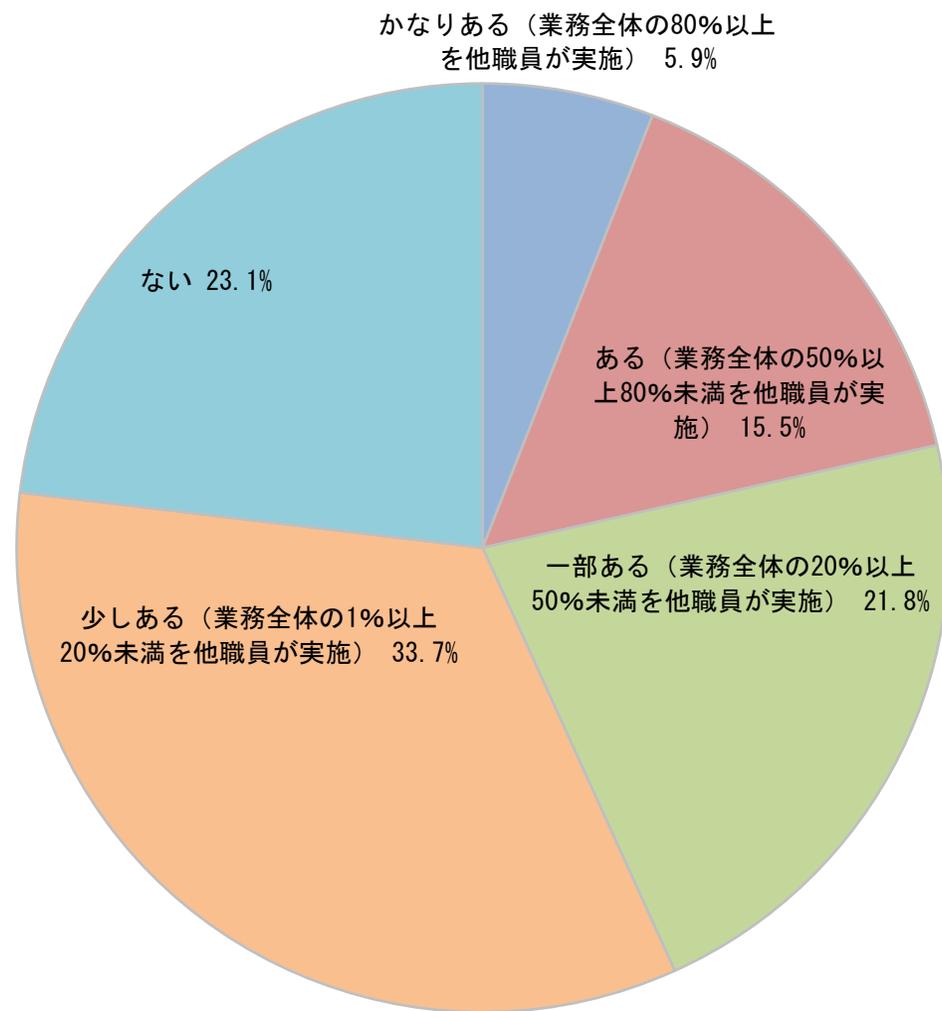


22. 働き方改革に対応するために、医療安全対策研修について何らかの取り組みを行いましたか。
 「その他」回答の具体的な内容。（任意）
 (回答数：134)

No.	区分	22. 働き方改革に対応するために、医療安全対策研修について何らかの取り組みを行いましたか。 「その他」回答の具体的な内容。（任意）
13	e-learning	13 e-ラーニングでの研修方法へ変更し、なるべく業務時間内で自分のタイミングで研修できるようにした。
18	e-learning	18 ①職員研修のプログラム内へ導入 ②受講タイミングの選択肢を増やす（e-ラーニングや職員限定youtubeの活用）
29	e-learning	29 会場開催とeラーニング形式（会場開催を動画撮影）と選択できるようにしている
61	Web	12 WEB研修にし、自分時間で視聴できるようにした。
64	Web	15 ユーチューブ配信で見たい時に見れる環境
78	Web	29 院内の職員共有システムを使用し、休憩時間などで複数回視聴できるような動画配信にしている 研修後のアンケートなども携帯電話から入力できるような仕組みに変更した
101	動画	4 集合研修に参加できなかった職員のために、DVDを作成して回覧している
113	動画	16 動画視聴とテストを各自の時間の都合のいいときに実施してもらう学習もある。学習の目的や内容によって対面式と動画学習との使い分けをしている。
126	運用	3 時間厳守
134	運用	11 様々な勤務形態の人が研修を受けられるよう、時間内、時間外、時間内を複数回行い、いくつか異なる時間帯で研修を開催するように変更した。（その分主催側の負担は増えた）

※一部抜粋

23. 医療安全関連の研修の準備・運営において、事務職員など他職員の関与はありますか。
(回答数：303)

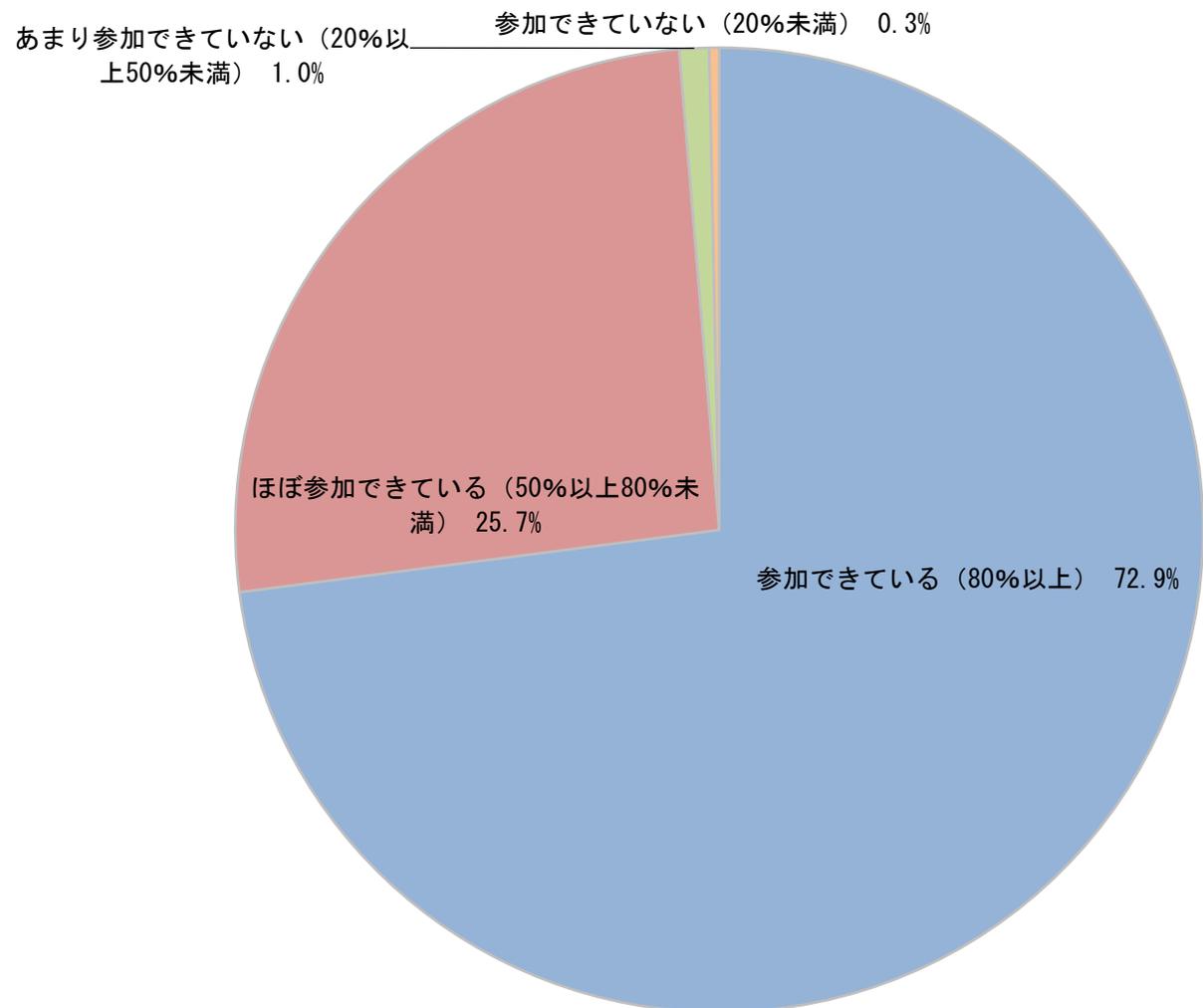


単一回答	n	%
全体	(303)	
1 かなりある (業務全体の80%以上を他職員が実施)	18	5.9
2 ある (業務全体の50%以上80%未満を他職員が実施)	47	15.5
3 一部ある (業務全体の20%以上50%未満を他職員が実施)	66	21.8
4 少しある (業務全体の1%以上20%未満を他職員が実施)	102	33.7
5 ない	70	23.1

24. 医療安全会議以外の会議（委員会含む）において、委員（メンバー）になっている会議は何件（何種類）ありますか。
（回答数：303）

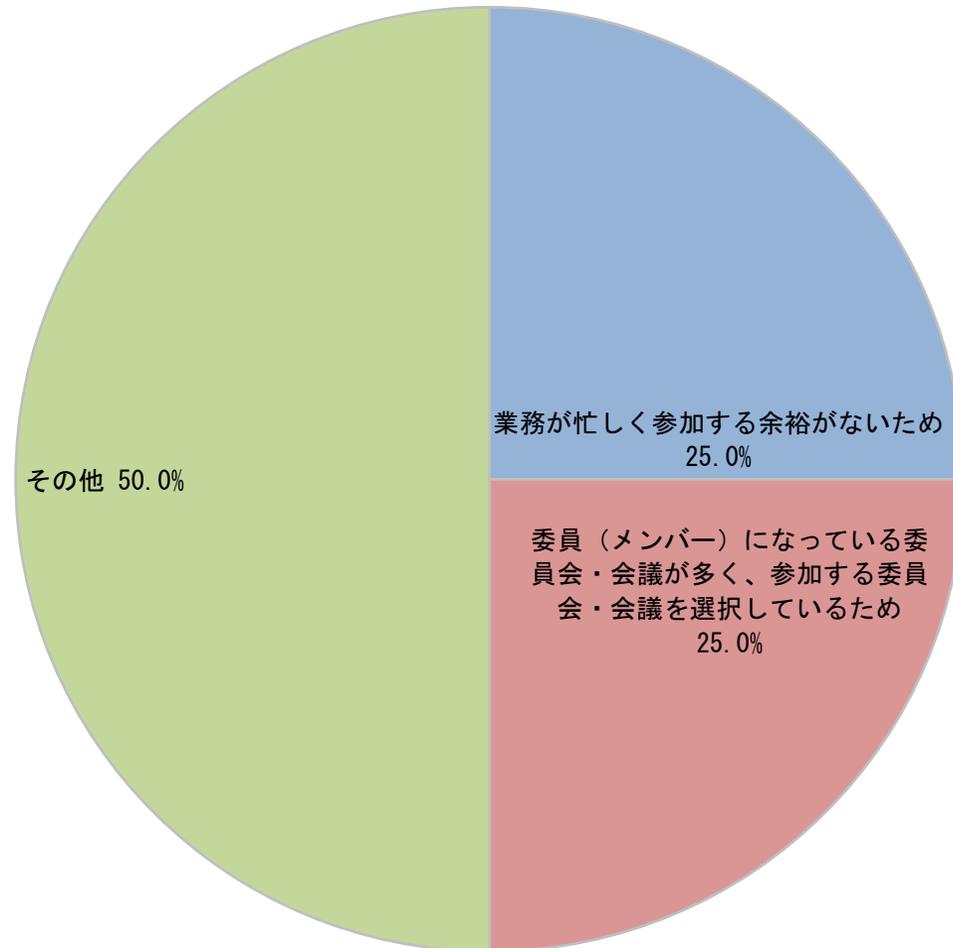
全体	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値	無回答
(303)	303	2134	7.04	5.54	0.00	48.00	5.00	0

25-1. Q24で回答した会議（委員会含む）にどれくらい参加できていますか。
（回答数：303）



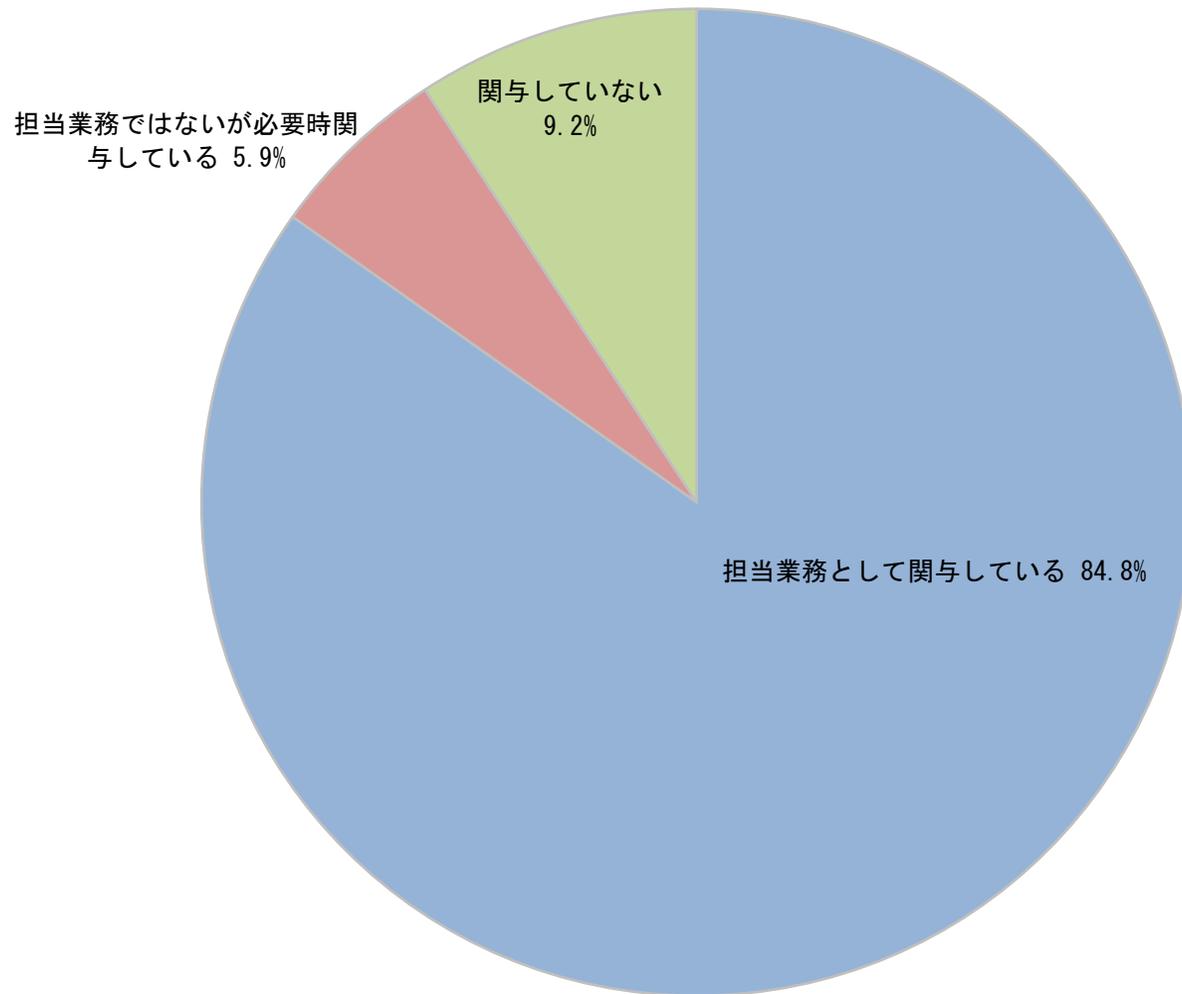
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 参加できている (80%以上)	221	72.9
2 ほぼ参加できている (50%以上80%未満)	78	25.7
3 あまり参加できていない (20%以上50%未満)	3	1.0
4 参加できていない (20%未満)	1	0.3

25-2. Q25-1で医療安全会議以外の会議（委員会含む）について「あまり参加できていない」、「参加できていない」と答えた方にお聞きします。参加できない理由をお答えください。
(回答数：4)



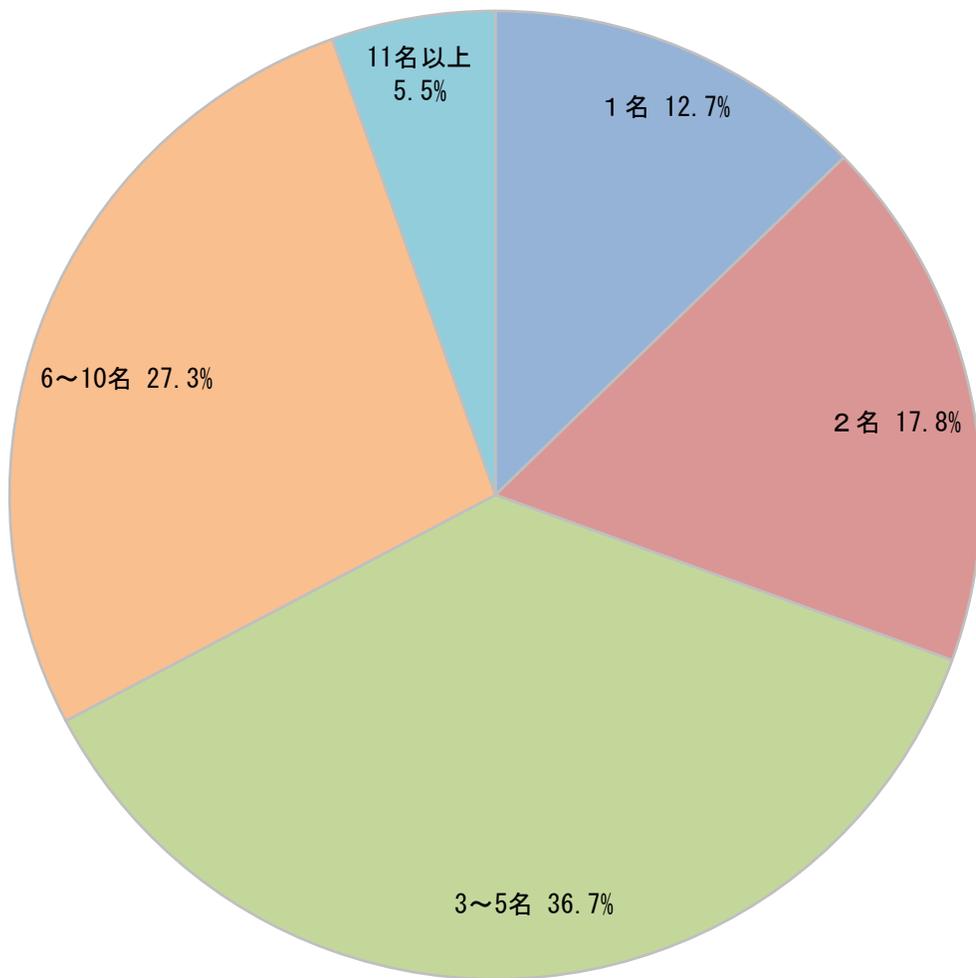
単一回答	n	%
全体	(4)	
1 業務が忙しく参加する余裕がないため	1	25.0
2 委員（メンバー）になっている委員会・会議が多く、参加する委員会・会議を選択しているため	1	25.0
3 その他	2	50.0

26-1. 有事の場合、医療事故調査に関与していますか。
(回答数：303)



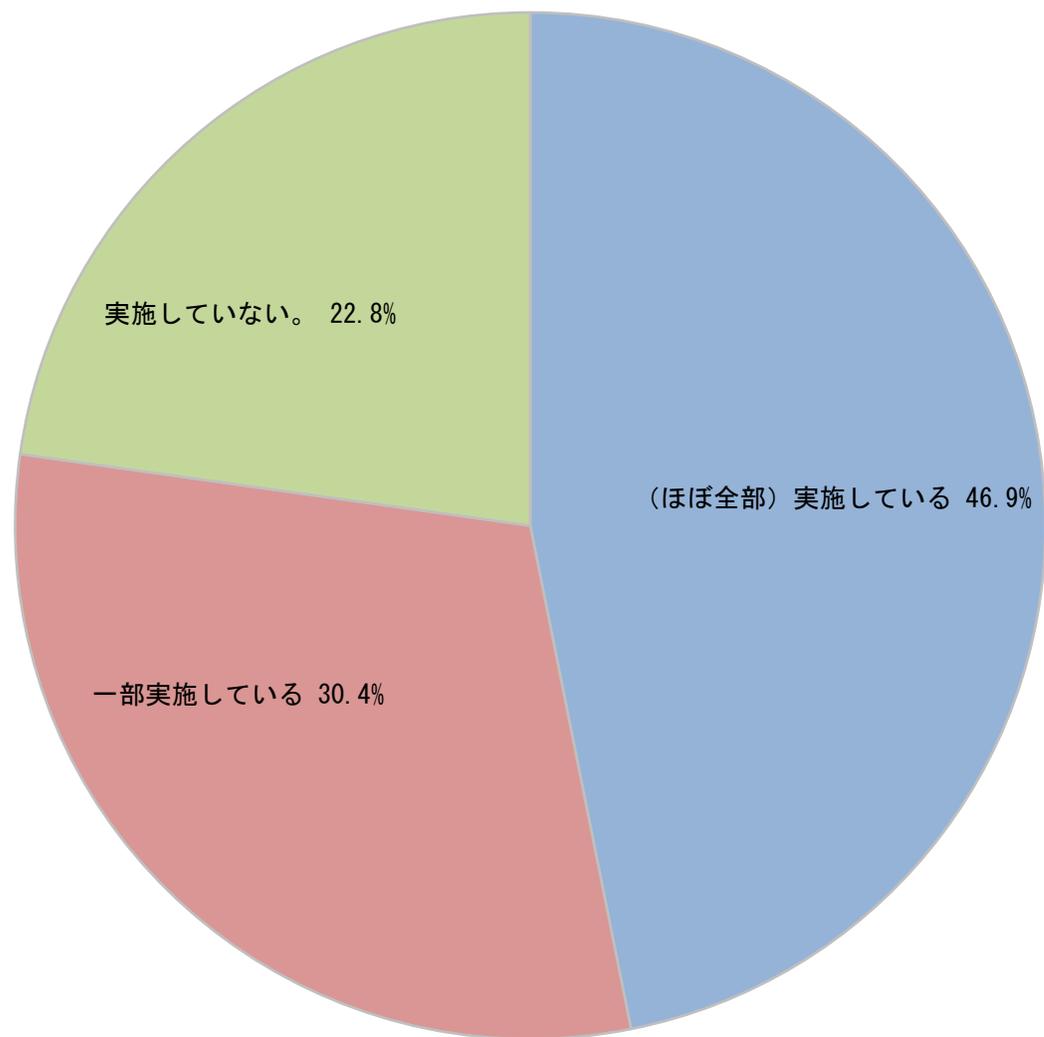
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 担当業務として関与している	257	84.8
2 担当業務ではないが必要時間与している	18	5.9
3 関与していない	28	9.2

26-2. Q26-1で医療事故調査について「担当業務として関与している」、「担当業務ではないが必要時関与している」と答えた方にお聞きします。医療事故調査は平均何人ぐらいで実施していますか。
(回答数：275)



単一回答	n	%
全体	(275)	
1 1名	35	12.7
2 2名	49	17.8
3 3~5名	101	36.7
4 6~10名	75	27.3
5 11名以上	15	5.5

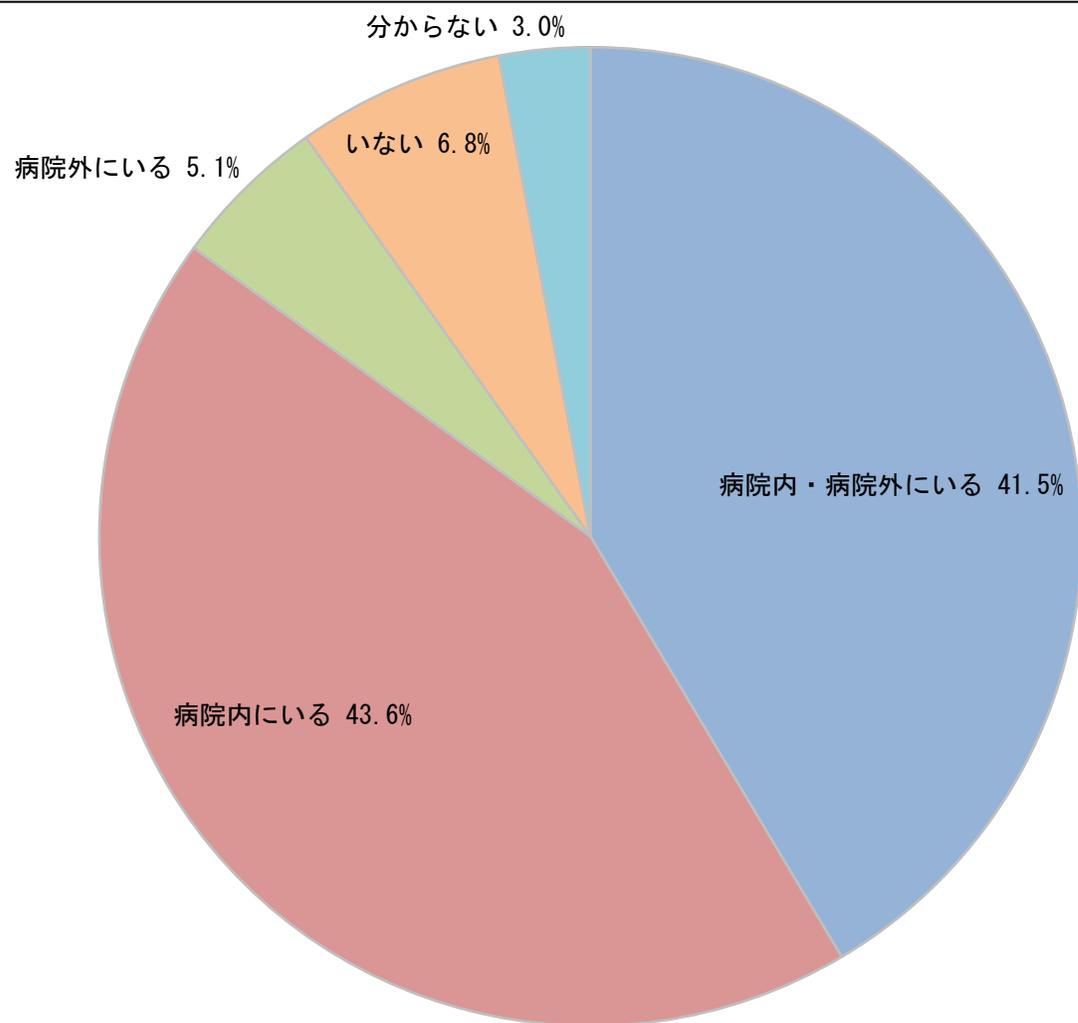
27-1. 院内の医療事故調査報告書の作成を実施していますか。
(回答数：303)



単一回答	n	%
全体	(303)	
1 (ほぼ全部) 実施している	142	46.9
2 一部実施している	92	30.4
3 実施していない。	69	22.8

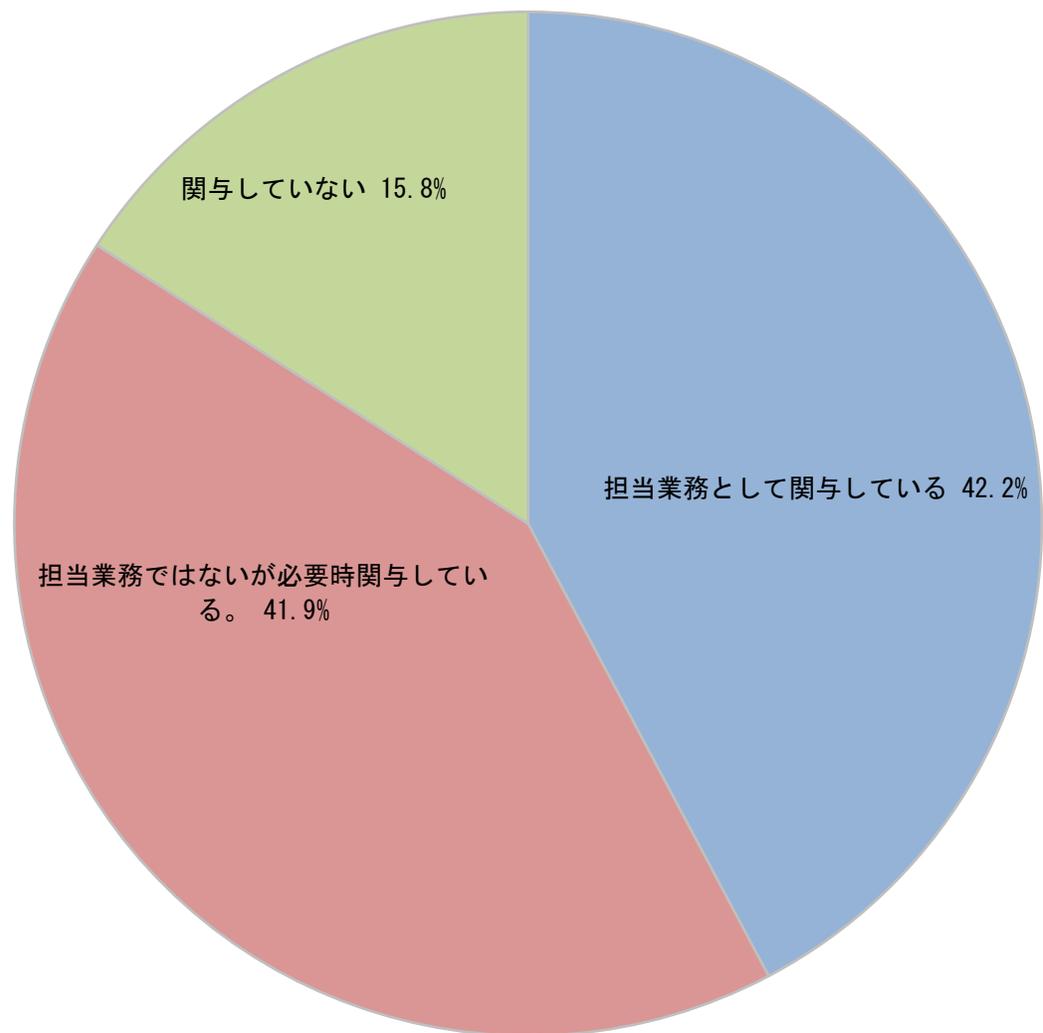
27-2. Q27-1で医療事故調査報告書の作成について「（ほぼ全部）実施している」、「一部実施している」と答えた方にお聞きします。作成にあたり相談できる方はいますか。

(回答数：234)



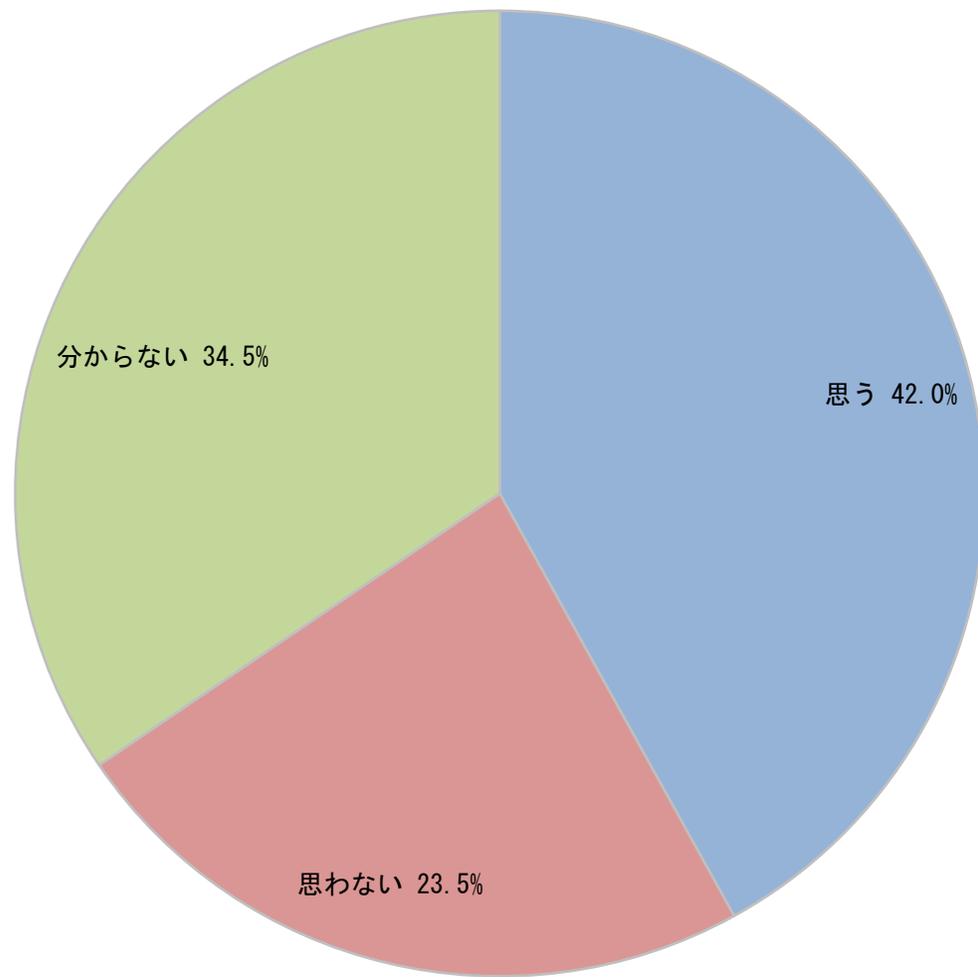
単一回答	n	%
全体	(234)	
1 病院内・病院外にいる	97	41.5
2 病院内にいる	102	43.6
3 病院外にいる	12	5.1
4 いない	16	6.8
5 分からない	7	3.0

28-1. 紛争案件が生じた場合、関与していますか。
(回答数：303)



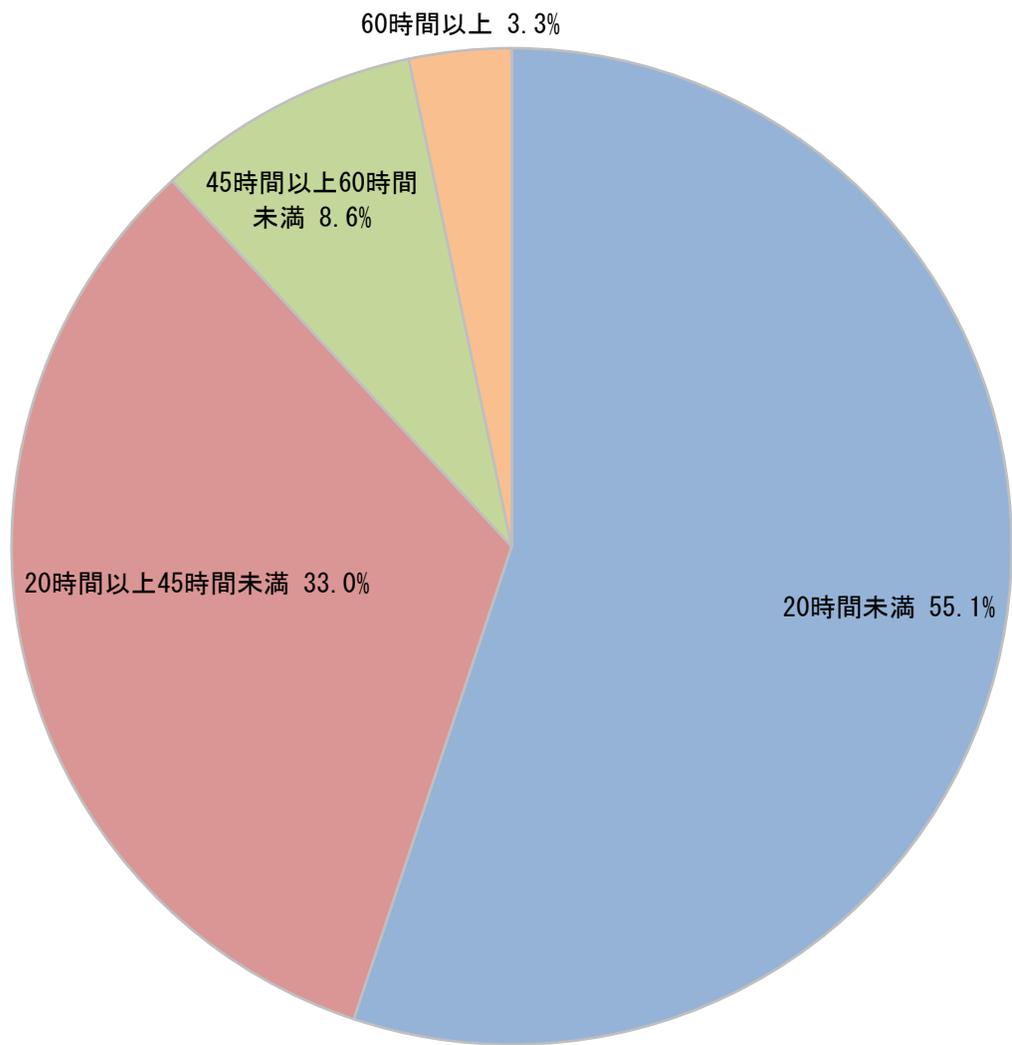
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 担当業務として関与している	128	42.2
2 担当業務ではないが必要時間関与している。	127	41.9
3 関与していない	48	15.8

28-2. Q28-1で紛争案件について「担当業務として関与している」、「担当業務ではないが必要時関与している」と答えた方にお聞きします。本業務は医療安全管理者が関与する業務だと思いますか。
(回答数：255)



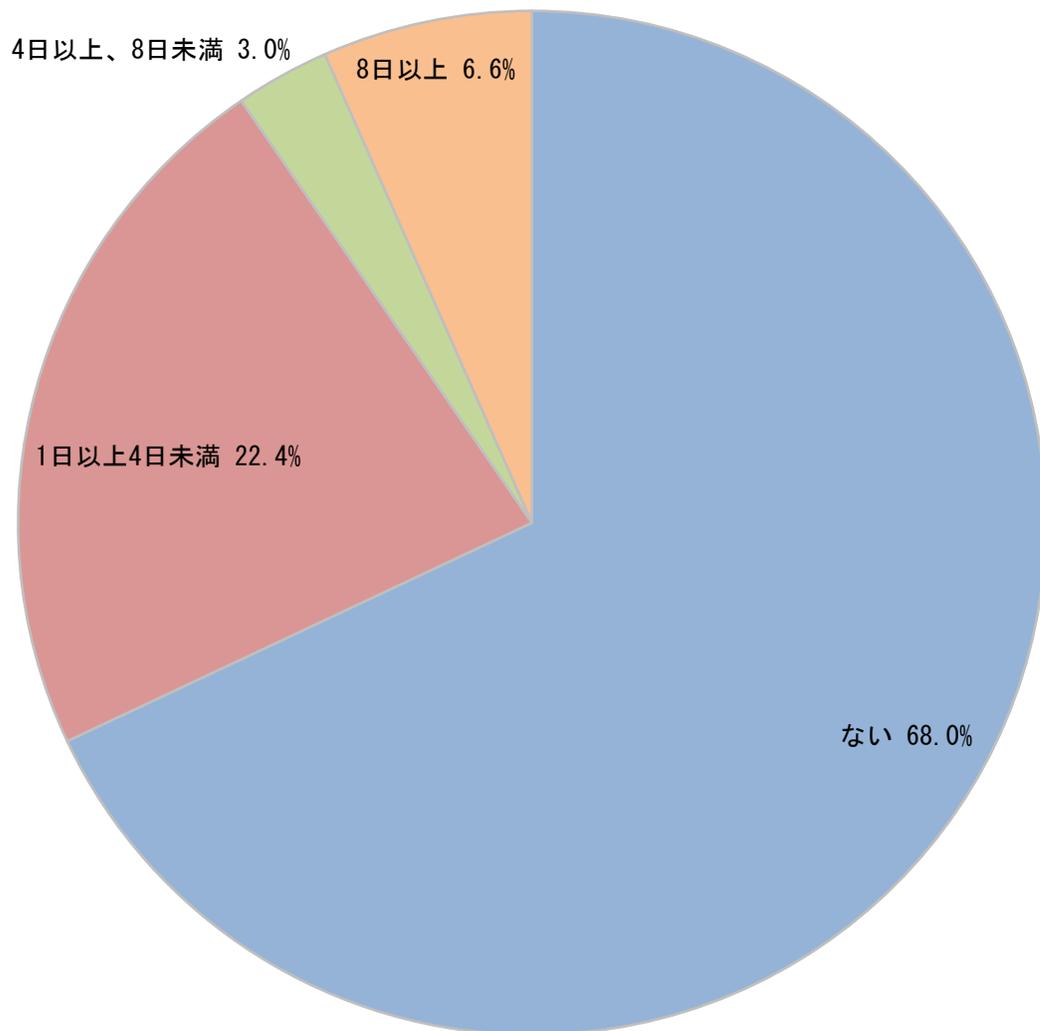
単一回答	n	%
全体	(255)	
1 思う	107	42.0
2 思わない	60	23.5
3 分らない	88	34.5

29. 時間外勤務は、月平均何時間（程度）ですか。
(回答数：303)



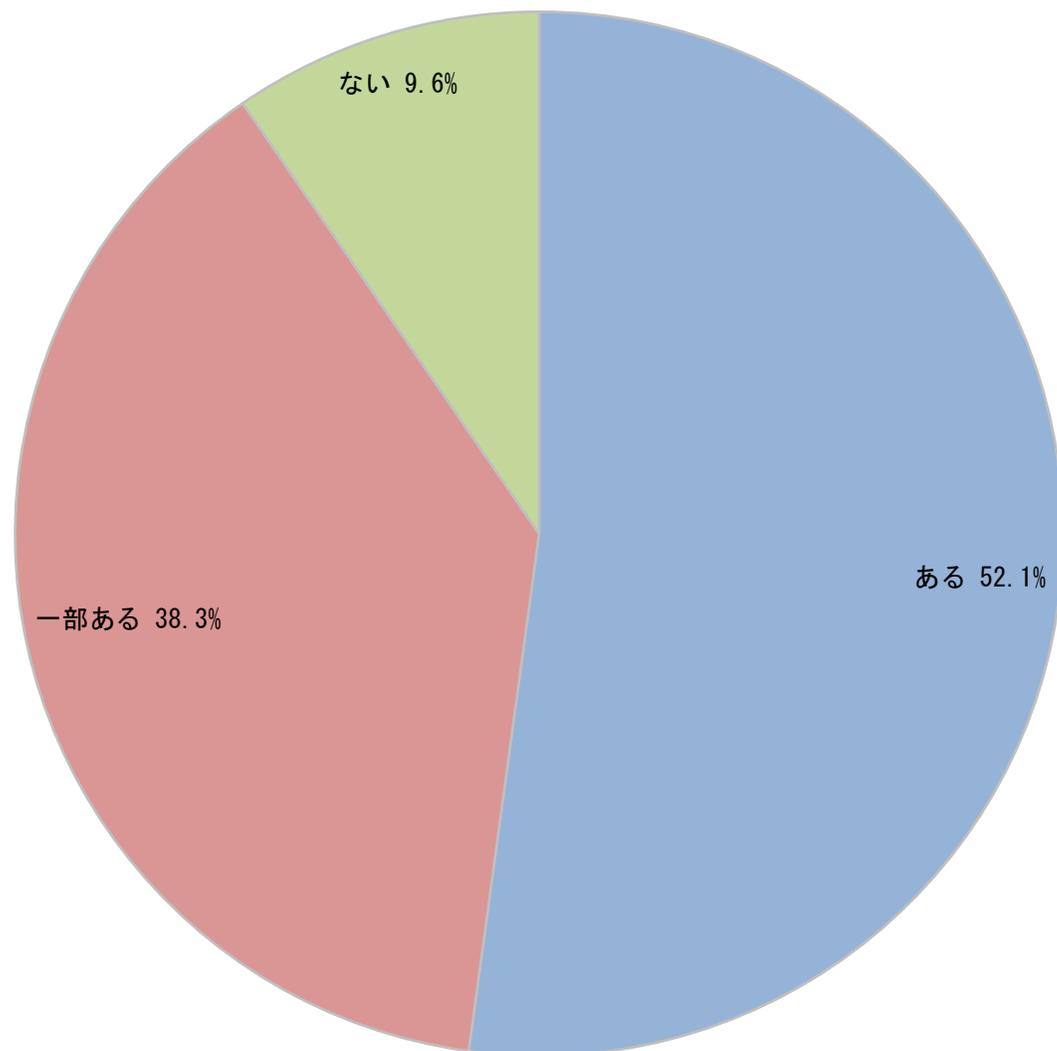
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 20時間未満	167	55.1
2 20時間以上45時間未満	100	33.0
3 45時間以上60時間未満	26	8.6
4 60時間以上	10	3.3

30. 休日勤務は、月平均何日（程度）ですか。
(回答数：303)



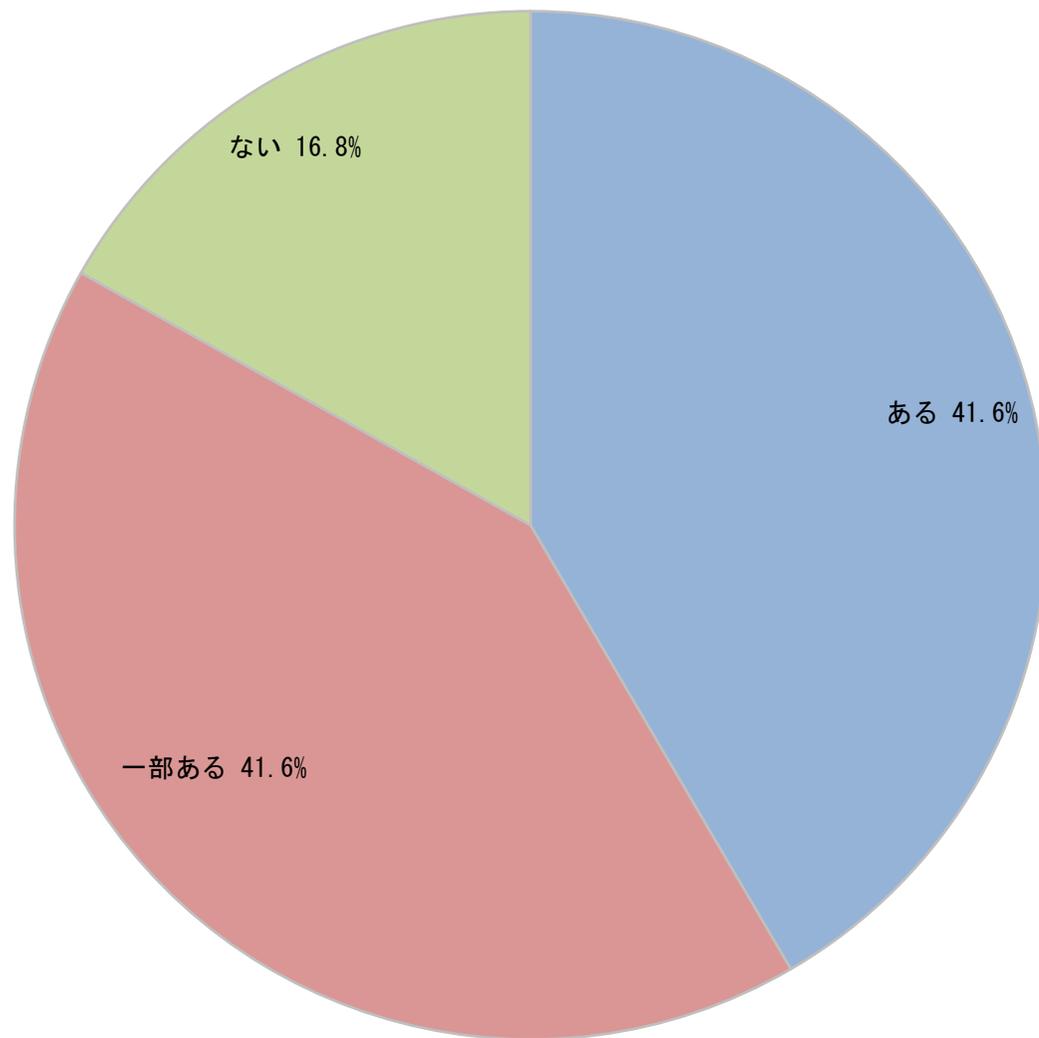
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 ない	206	68.0
2 1日以上4日未満	68	22.4
3 4日以上、8日未満	9	3.0
4 8日以上	20	6.6

3 1. 勤務時間内に学会や外部の研修会等へ参加する場合、病院からの費用負担はありますか。
(回答数：303)



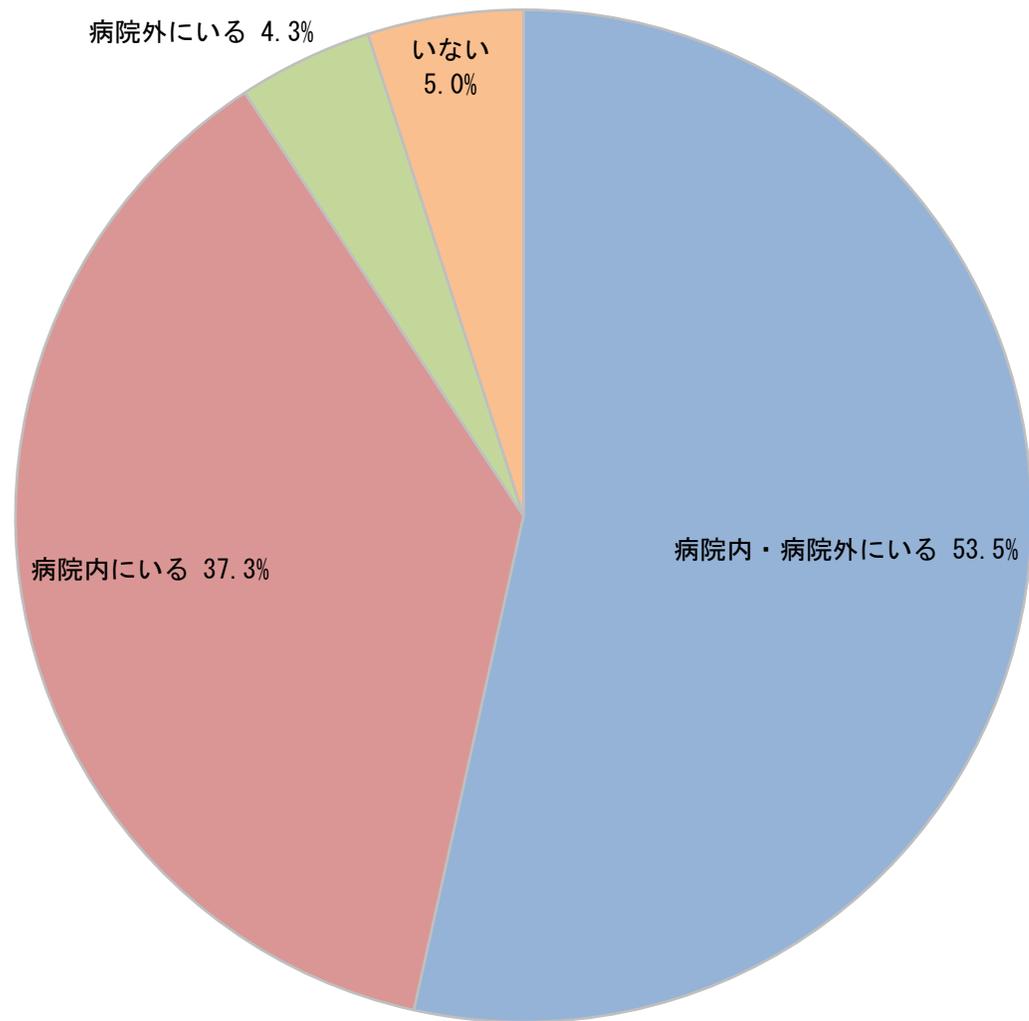
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 ある	158	52.1
2 一部ある	116	38.3
3 ない	29	9.6

3 2. 勤務時間外（休日）に学会や外部の研修会等へ参加する場合、病院からの費用負担はありますか。
(回答数：303)



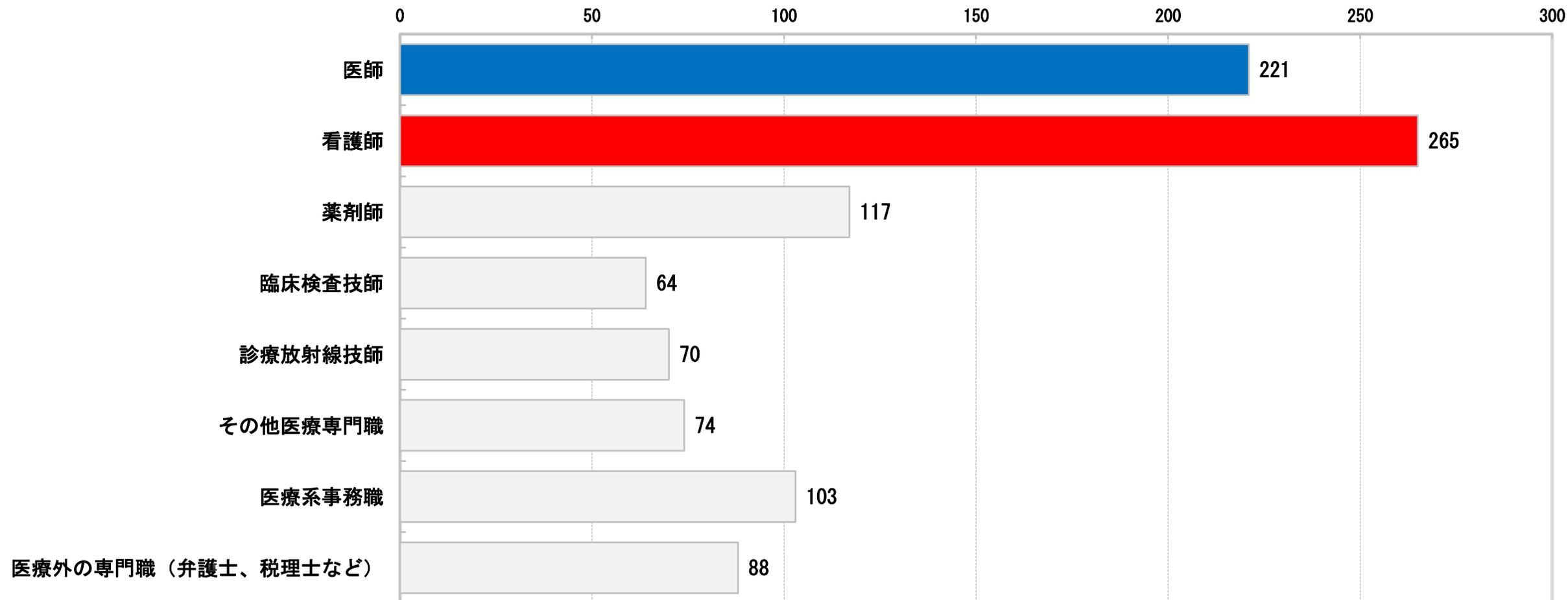
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 ある	126	41.6
2 一部ある	126	41.6
3 ない	51	16.8

3 3-1. 業務について、課題や悩み等が発生した際に相談できる方はいますか。
(回答数：303)

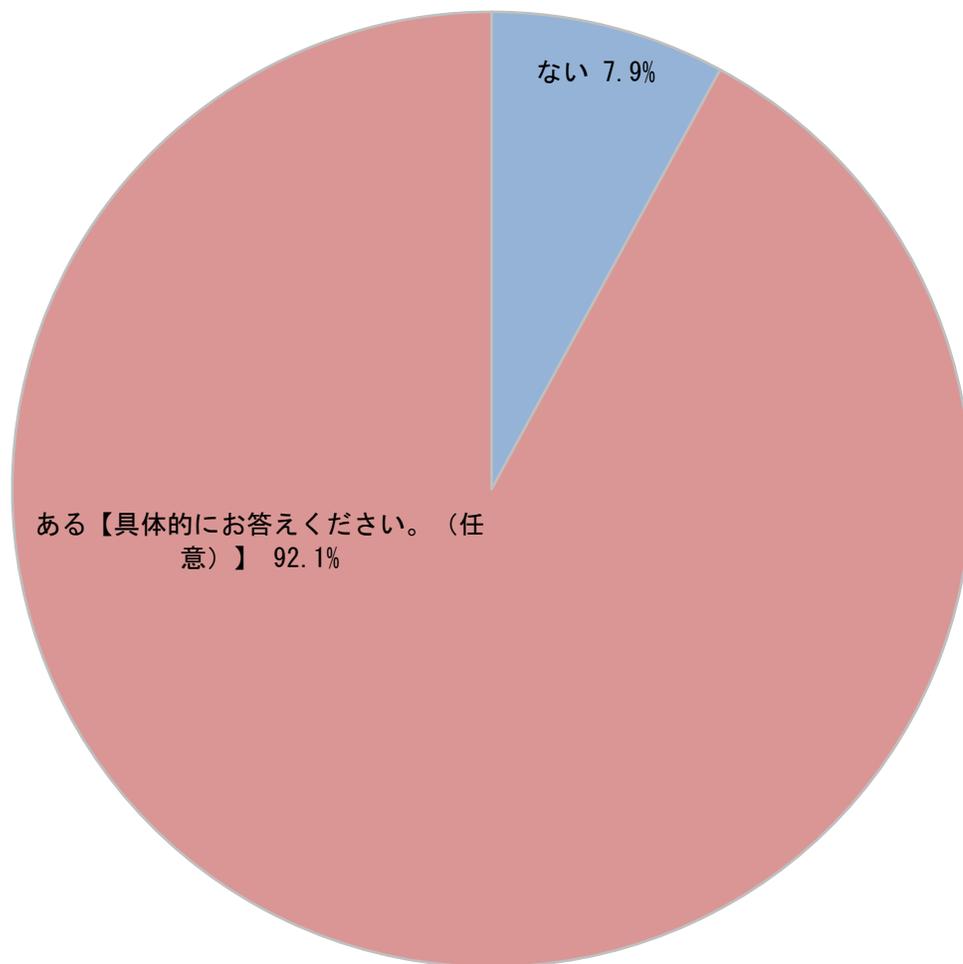


単一回答	n	%
全体	(303)	
1 病院内・病院外にいる	162	53.5
2 病院内にいる	113	37.3
3 病院外にいる	13	4.3
4 いない	15	5.0

33-2. Q33-1で「病院内・病院外にいる」、「病院内にいる」、「病院外にいる」と答えた方にお聞きします。その方の職種をお答えください。
(回答数：288)【複数回答】



34. 医療安全管理者になって感じている課題や困っていることはありますか。
ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
（回答数：303）



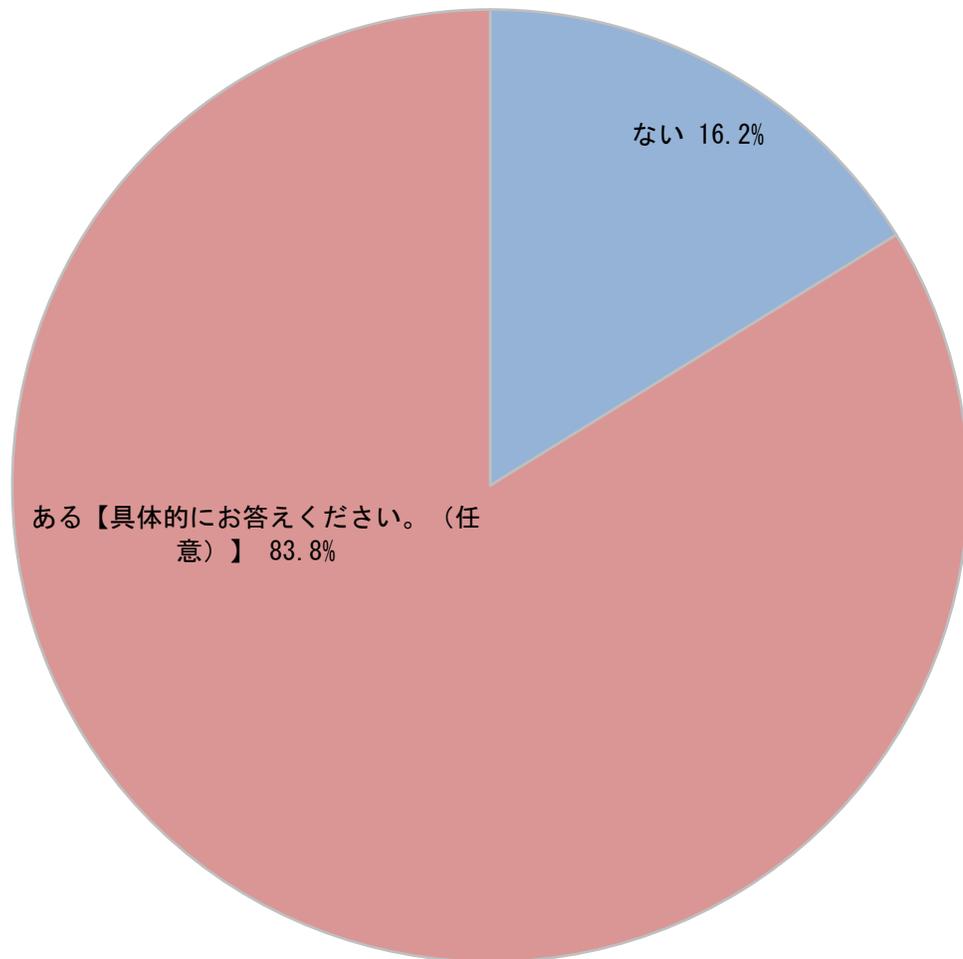
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 ない	24	7.9
2 ある【具体的にお答えください。（任意）】	279	92.1

34. 医療安全管理者になって感じている課題や困っていることはありますか。ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
（回答数：249）

No.	区分	34. 医療安全管理者になって感じている課題や困っていることはありますか。ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
16	組織・文化	16 リスク感性の違いによるレポート未提出の多さ（医師は依頼しても書かないことが多い）がある。医療現場に複雑な提案はしたくないが、患者確認など基本的なことが不足していることもあって必要な対策であっても現場に理解してもらえないことがある。
35	体制	17 組織図上、院長直下の組織であるが、医療安全管理室（デスク）が看護部 部屋の中であり、誰もが相談に来れない環境にある。部門間の壁（サイロ状態）。医療安全の業務はやりがいがあるが、組織の協力がないと困難である。お一人さま医療安全管理者として、ソフト面・ハード面のサポートがないと、働きづらい。
68	業務：ワンオペ	10 分析手法を様々行うが自分の考えが合っているのかどうか、何が足りないかなど助言を行ってくれる人が少ないため、業務の相談はできるが分析の相談は他部署の人にはできない。おひとりさま医療安全なのでなにかと不安。他院とのかかわりも（GRM同士）の会等も近隣ではないため、試行錯誤している現状である。
81	業務：全般	2 ①現場のリスクマネージャーの育成。インシデントが発生した場合に現場のリスクマネージャーにまず聞き取りをするが客観的にインシデントを捉えていない場合が多く、再度確認になるため時間を有する。②伝達する難しさ。全体発信する内容が多いが、実働部隊であるスタッフに内容が伝達されていないことが多々あるため。③仕事量が多く、本来やりたい分析、事前対策、勉強会などの実施が必要最低限しか実施できていないこと
147	医師への対応	2 医師から発生したエラーに対するヒアリング、対策を講じる際の非協力や、圧力に対してひるんでしまう。安全というキーワードにこじつけて何かにつけ依頼や関与をしないとイケない。医療安全管理者という役割の重荷が過度なストレスになる。
197	キャリア	4 医療安全管理者として長いですが、臨床に復帰する際、果たしてすぐさま順応できるか不安がある。勤務異動については、病院側の方針によるため。
229	所感	24 ①活動内容が固定されない（事例により行動が異なる）ため、申し送りも十分ではなく、自分自身で切り開いていくしかない。②繰り返されるインシデント事例で対策に限界を感じた場合、どのように導いていくべきか悩む。③常に課題を残して日々過ごしているため、仕事から頭が離せない気持ちになる。④自分が能力として、どこまで対応できているかの他者評価が明確でないため、役割の自信がもてない。

※一部抜粋

35. 医療安全管理者になって感じているよかったこと・役に立ったことはありますか。
ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
（回答数：303）



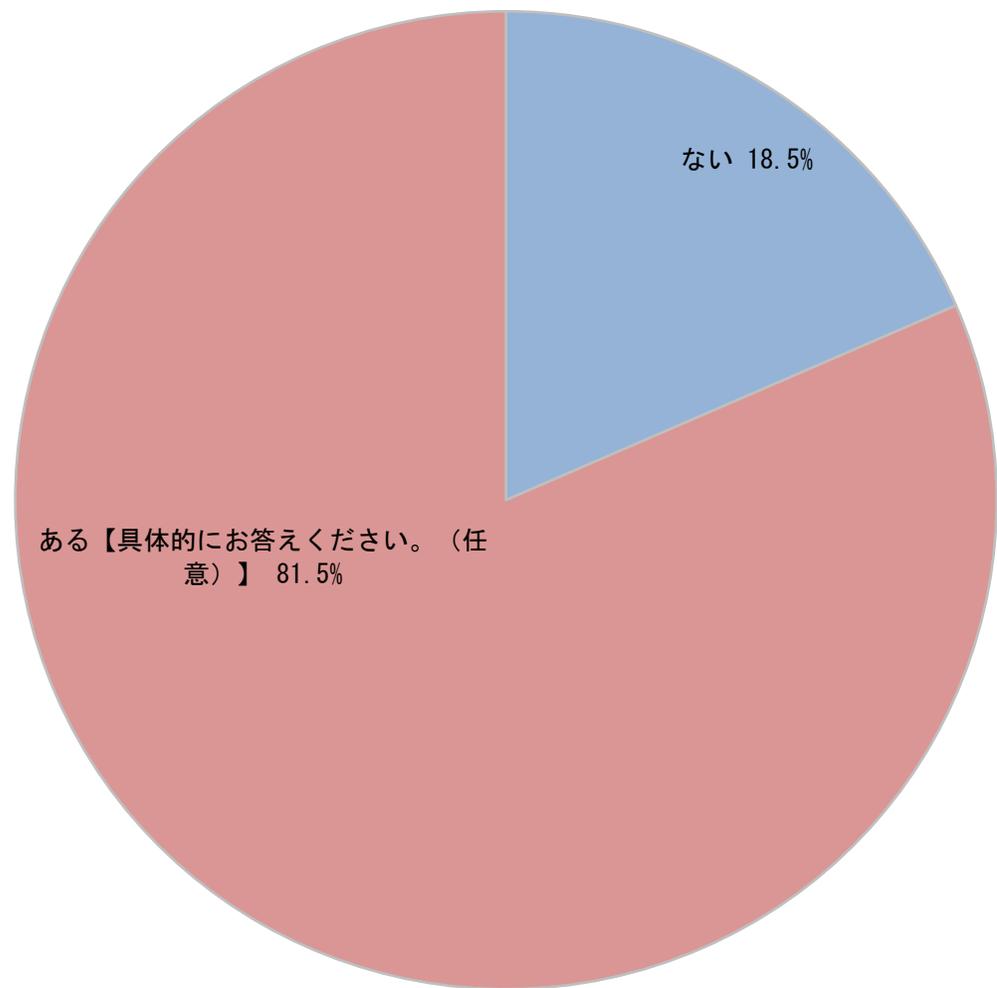
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 ない	49	16.2
2 ある【具体的にお答えください。（任意）】	254	83.8

35. 医療安全管理者になって感じているよかったこと・役に立ったことはありますか。ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
 (回答数：223)

No.	区分	35. 医療安全管理者になって感じているよかったこと・役に立ったことはありますか。ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
49	学び	49 患者家族の言動からたくさんのことを学んでいる。対応に関してお褒めの言葉をいただいたとき、紛争化した事例が対話で鎮静化したとき。また、学会や会議、研修会でさまざまな学びが役に立ったかも。その学びを当院にも還元し、業務改善、企画運営したことが安全に実施されている現場をラウンドした時など確認できることは嬉しい。企画や講義した研修会でわかりやすかった、興味を持ったなどといわれると嬉しい。後輩が育つ、自分の大切にしてきたものが伝わった時良かったと感じる。
119	視点・行動	54 <ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上に、人の辛い場面を目の当たりにするので、以前より患者・家族の視点で考えることが身についた。 ・客観的思考を常に意識することができた。 ・職種横断的にかかわるため視野を拡大できた。
137	成長	3 患者対応や職員対応において、概ね場面ごとに適切な対処ができるようになっており、患者や職員のトラブルが最小限でおさめることができたときによかったと感じる。物事の考え方が、自他的ではなく利他的に対応できるようになり、患者にとって最善なこと、医療安全的にはどうすべきかを考えながら対応ができるようになってきたこと。
174	多職種連携	33 他部門の人と対話をする垣根が下がったこと。「安全」はどの部署においても関心事であることから対話の切り口としてこちらに専門的知識がなくても情報交換がしやすく学びも多い。
194	業務への寄与	6 病院全体をみることができ、どこにどんなサポートをすれば患者安全や医療サービスの質向上につながるかを提案することができる。各部署の業務改善に介入し調整することで、部署間の潤滑剤になれる。

※一部抜粋

36. 医療安全管理者として、今後身につけたいと考えているスキルや知識等がありますか。
ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
（回答数：303）



単一回答	n	%
全体	(303)	
1 ない	56	18.5
2 ある【具体的にお答えください。（任意）】	247	81.5

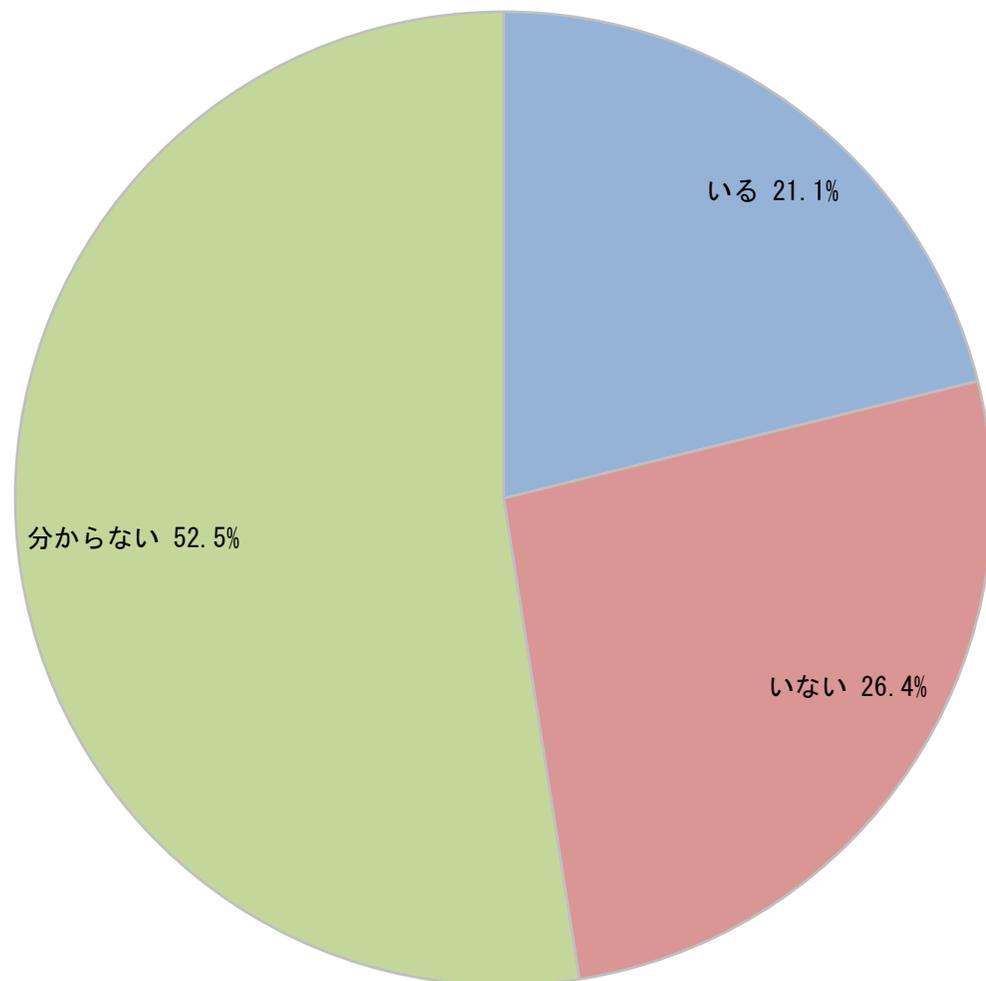
36. 医療安全管理者として、今後身につけたいと考えているスキルや知識等がありますか。ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
（回答数：206）

No.	区分	36. 医療安全管理者として、今後身につけたいと考えているスキルや知識等がありますか。ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
13	コミュニケーション	13人に伝えるというスキル 広義のコミュニケーションスキル
29	プレゼンテーションスキル	4伝わりやすく、説得力のある話術、プレゼンテーション力（委員会など、なかなか伝わっていないと感じる時が多いので。）
51	メディエーション	22医療メディエーター（一度研修は受けましたが経験を積まないと身につかないと感じています）
91	医療安全	15医療安全管理者として必要な知識全般、および医療事故発生時の情報収集、分析、当事者支援、再発防止策の提案・立案、報告書作成など
105	分析力	10インシデントの分析、職員を巻き込んでPDCAを回すこと
144	医療事故・紛争対応	5裁判になった時の医療安全管理者の役割や動き方（病院によって違ってくるとは思いますが）
151	クレーム対応	4カスタマーハラスメント対策
158	法律・経営	7法律 クオリティマネジメントなど
167	その他	2心理的安全性の担保のための、医師への教育とヒューマンエラーの軽減に向けたAIの活用。
169	その他	4ストレスマネジメントに関するスキル
170	その他	5心理カウンセリング技術

※一部抜粋

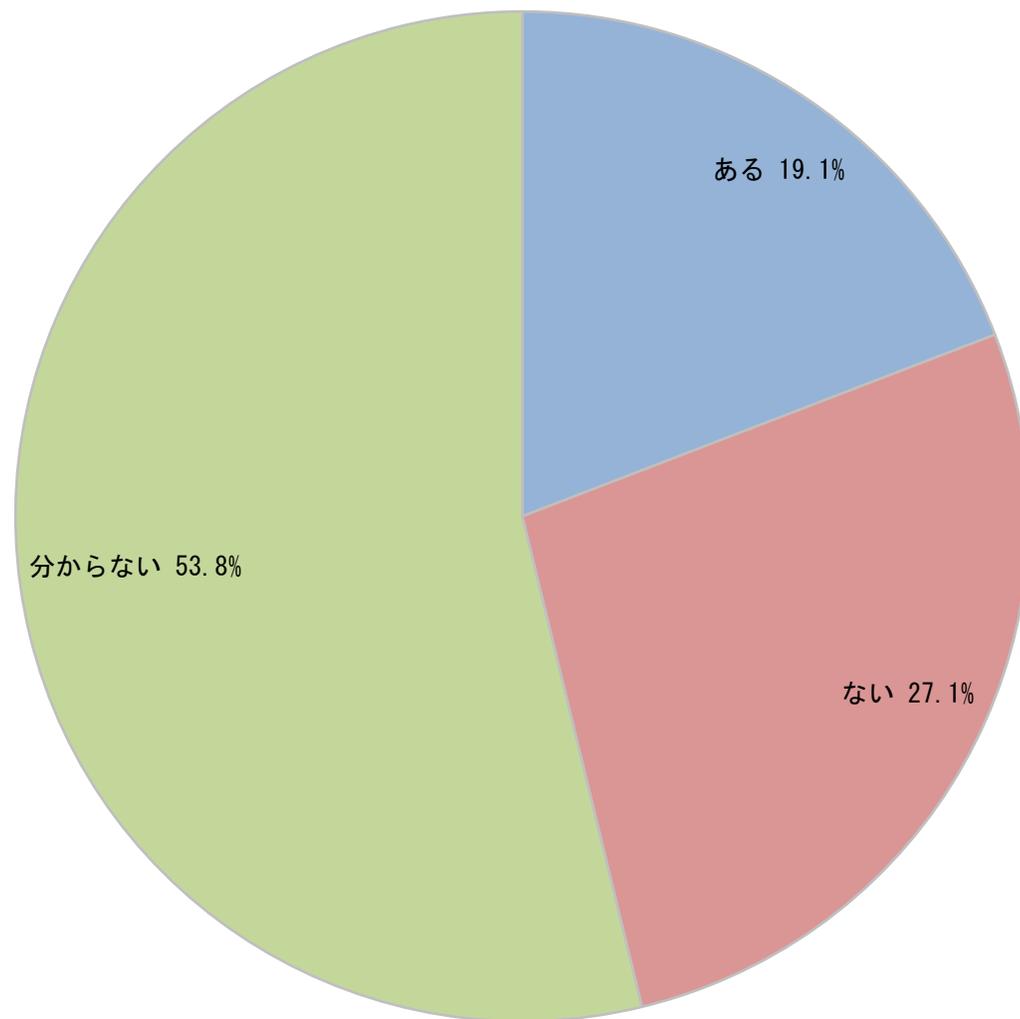
37. 貴院では医療安全管理者の経験は、ご自身の職種（看護職など）のキャリアパスにおいて、考慮されていますか。

(回答数：303)



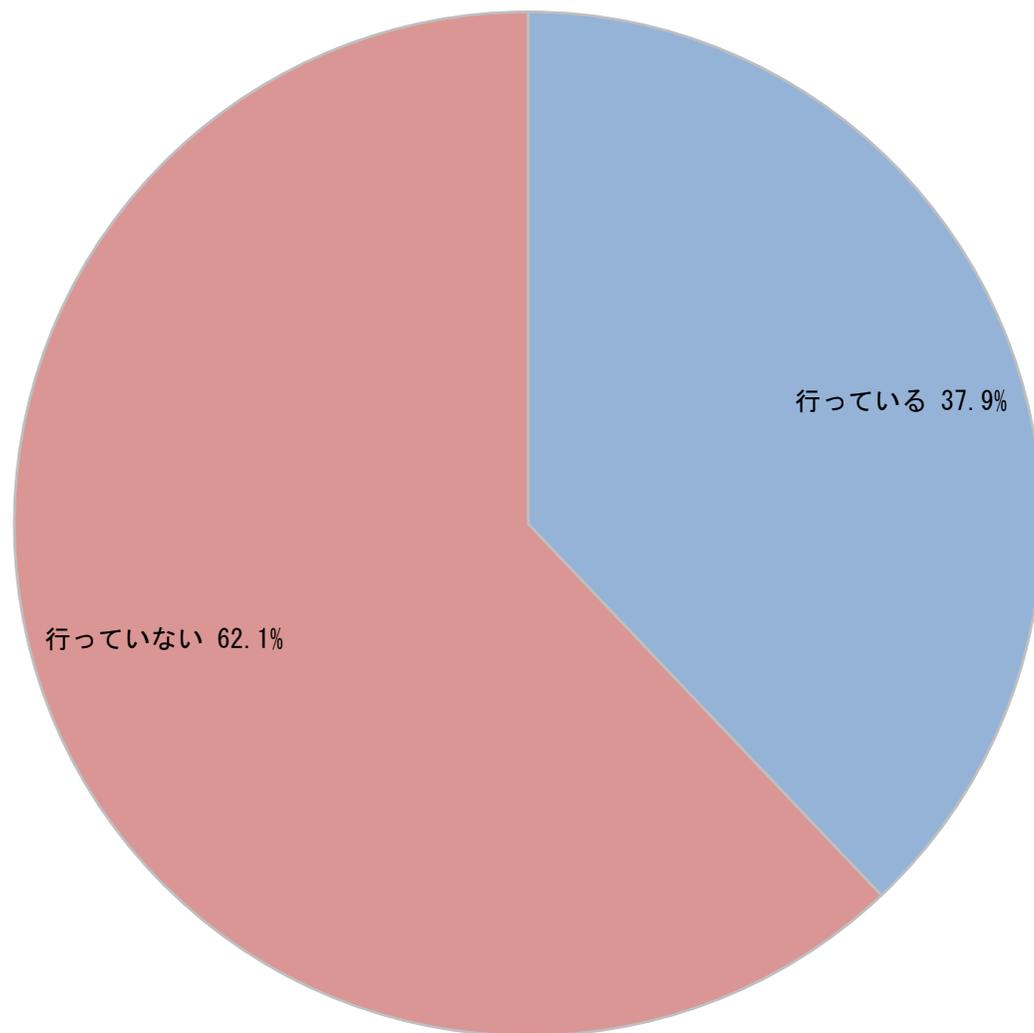
単一回答	n	%
全体	(303)	
1 いる	64	21.1
2 いない	80	26.4
3 分からない	159	52.5

38-1. 2024年4月より医師の働き方改革がスタートします。現在の医療安全体制に影響はありますか。
(回答数: 303)



単一回答	n	%
全体	(303)	
1 ある	58	19.1
2 ない	82	27.1
3 分からない	163	53.8

38-2. Q38-1で「ある」と答えた方にお聞きします。それに向けた対応は行っていますか。
(回答数: 58)



単一回答	n	%
全体	(58)	
1 行っている	22	37.9
2 行っていない	36	62.1

38-2. Q38-1で「ある」と答えた方にお聞きします。それに向けた対応は行っていますか。
ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
（回答数：22）

No.	38-2. 38-1で「ある」と答えた方にお聞きします。それに向けた対応は行っていますか。 ある場合は内容について具体的にお答えください。（任意）
2	全死亡事例を把握するための体制を構築した。
5	院内で特定研修開講
6	包括的指示や記録の有無・内容についての整備
7	医師業務のタスクシフトに備えて看護師の特定行為研修を予定している。看護師、薬剤師やクラークによる代行入力。看護補助者業務の見直し。
8	合同当直などが進んでおり、診療科別対応マニュアルなどを整備し始めている。
11	当直業務の見直し。休日でも全て担当医に指示を仰いでいたものを、まずは院内の到着が対応することとした。
17	より安全な医療提供体制につながるように、当直勤務明けの医師の外来等を適正化する取り組みに着手し始めている。
19	申し送りの徹底
21	医師業務の中で、多職種が行えることを考慮。看護師の業務内容も整理している。タスクシフトに取り組む中で、手順書の改正や研修会に取り組んでいる。

※一部抜粋

39. このアンケートに回答したご感想、業務の在り方や働き方改革への取り組みなど医療安全管理者として日ごろから感じている事やご意見などがあれば、ご自由に記載ください。【任意回答】
(回答数: 141)

No.	区分	39. このアンケートに回答したご感想、業務の在り方や働き方改革への取り組みなど医療安全管理者として日ごろから感じている事やご意見などがあれば、ご自由に記載ください。(任意)
7	ワンオペ	7 医療・看護他、患者に関わることの多くに医療安全が関与している。その割には専従は一人であり、業務・任務が多く、また事案によっては精神的に係る負担・ストレスが大きい。特に患者数が多く、問題になることも多い。この負担は経験した人にしかわからないことだと感じている。もっと、医療安全としてかかわる内容の整理が行えることと、人数の確保を行って欲しいと思う(各施設がどう考えているかわからないが)
16	組織・文化	3 医療安全管理を通して、部署による、いろいろなことに対するモチベーションや感度が違っており、医療安全委員会などを通して、多職種が、同じ立ち位置に立てるように教育委員会やその他の委員会などで、全般的に職員教育していく必要を感じている。医師が個人的な意見を通そうとして、病院全体の意識統一の足を引っ張られることが時々ある。
35	医師への対応	2 医師の医療安全についての関心を高める他の施設の方策を聞きたいです。どうしても本業が優先され、医療安全に関心の高い医師と巡り逢えていないなあと思います。また、医師同士は連携しあうことが上手では無いので、直接対話というより間接的な対話となりがちです。医師同士でも照れたりめんどくさがらず医療安全について対話ができたら飛躍的に職員も患者も不安全が少なくなるのでは無いかと思います。医療安全管理者研修を修了しても、十分いかせていな事が残念に思います。
139	所感	8 今回のアンケートで事務職の集計等のサポートをお願いするという発想はなかった。今後、以降できる業務は検討していきたいと思いました。

※一部抜粋